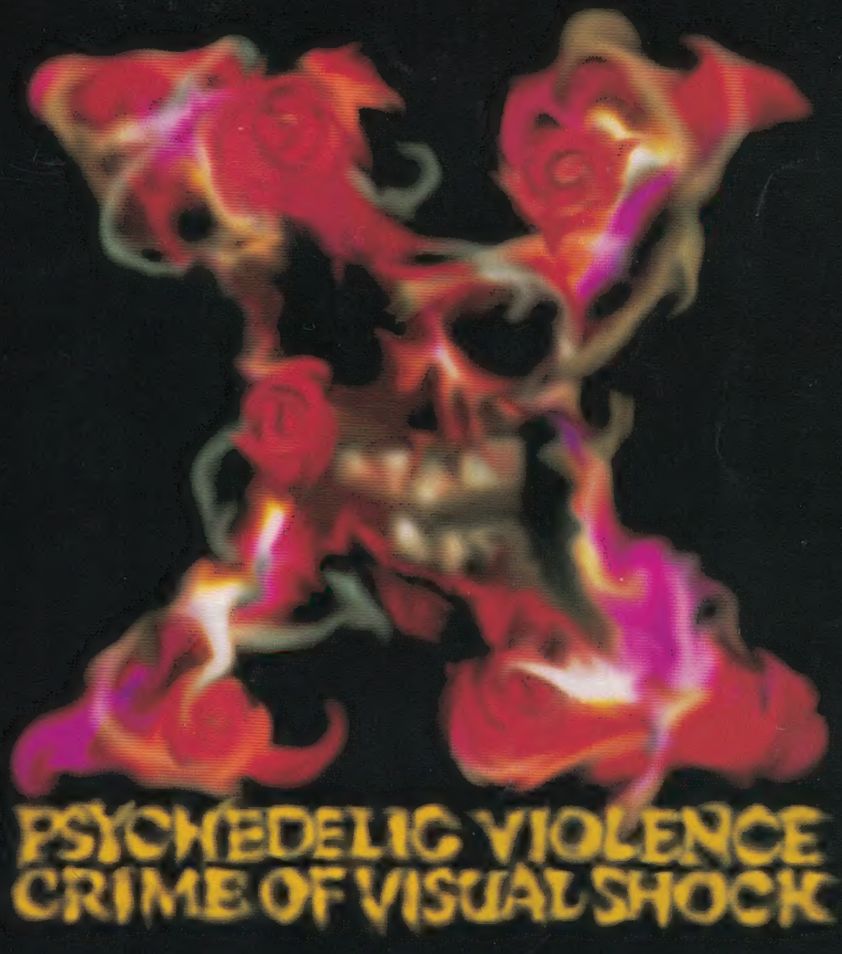


X-PRESS 1991 Vol.9

X-PRESS Vol.9

CONTENTS

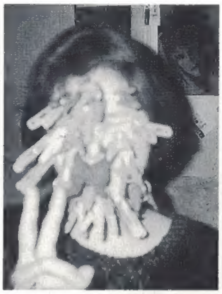


No.6548/大分県・衛藤京子さん

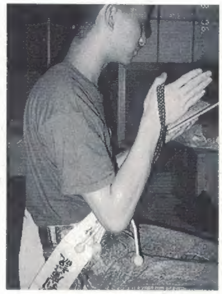
Xへのイキゴミプレゼント（やっと）発表！

いつの話だよなんて言わないで。大変選考に苦労したこの企画。やっとHIDE、TOSHI の選んだ当選者が決まりました。イキゴミ、というかメンバーの臓物をちょいと刺激する事の出来た方が選ばれた様です。まず、撮影で使用したHIDEの壊れたギターと、サイン付きワインボトルは下記２名。TOSHI のサイン付きテレホンカードと、実際使用のネックレスも下記２名に決定しました。残りの３名はまだ選考します。応募した方はまだあきらめないでね。（応募したかどうか忘れちゃったわよなんていう声が聞こえてきそうだ…）

HIDE・破壊済ギター
もう一生やりたくないという、顔中傷だらけの天使だという
No. 17391／佐藤ひとみさん



HIDE・ワインボトル
HIDEと同じ色に髪を染めたらバリカンで刈られたという
No. 20225／小駒明伸さん



TOSHI ・ネックレス
人に草に埋めてもらって撮ったという
No. 11280／大コ原　康さん



TOSHI ・テレホンカード
修学旅行中に寝ている先生にぬいぐるみをのせて撮ったという
No. 7650／小淵ルミさん



オメデトウ！

HIDE・メインギターモデル発売！！

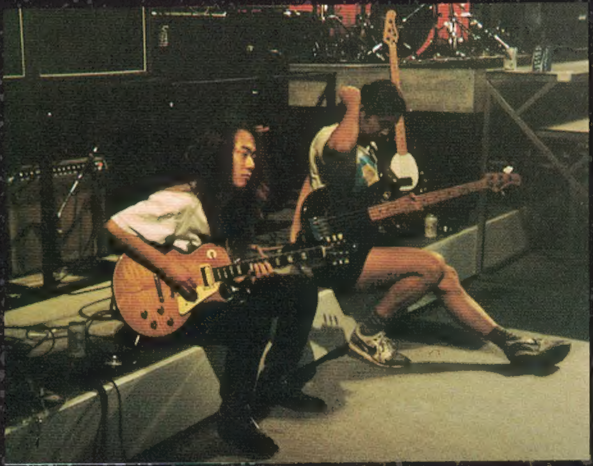
問合わせ／フェルナンデス　03-3950-8141

今回、HIDEが今TOURでメインギターとして使っているものと全く同じ柄のギターがフェルナンデスより発売となります。
ヘッドの裏には、本人・HIDEが認めているサインが入っています。（但し柄・サイン共に本人の直筆ではありません）次号では、フェルナンデスの方にHIDEのギターについて詳しく取材したいと思います。
（楽器関係の取材は始めてだ…どうしよう）
HIDE目指して日夜努力する全国のギター少年・少女のみなさん！まずはHIDEと同じモデルのギターを使って練習するんだっ。
まずはお知らせまで…。



MG-120X　¥120,000

ライブツアーレポート


















7/31　仙台リゾートパーク・オニコウベ

１年最後のライブが５／１７・大阪城ホール。以来約１年３ケ月振りの、生のＸ。いてもたってもいられず、ＦＣも取材として同行させてもらう事になった。会場は仙台・リゾートパーク・オニコウベ。行った方はわかると思うが、仙台といっても、バスでかなり奥へ入った所だ。小雨の振りしきる中、前日にリハーサルが行われたまず、HIDE、PATA、TAIJI が出した音が誰も観客の居ない客席と霧の深くたれこめる高原の山々に響き渡っている。霧の方面をじっと見つめながらラフにギターをかきならすHIDE。赤いバンダナを額に巻き、早速グイグイとベースをうならせるTAIJI 。ふら～りとステージ中央にやってきたかと思うと、じっと客席を見つめ、その後黒いレスポールを生き返らせてゆくPATA。「ENDLESS RAIN」のフレーズが、「オルガスム」のフレーズが、ぽろぽろとこぼれて来る。心臓が高鳴る。本当に久し振りのＸの生の音！客席のド真中、最前列に私は立ってみた。ここに明日来る人はどんな人なんだろう…。Ｘの大ファンが来るといいな。君は超幸せ者だよ。…

――― 小雨が激しくなってくる。メモをとっている用紙が雨に濡れてしまって仕方ない。さっきからTOSHI ,YOSHIKI の姿が見えない。控室らしい。「頭のＳＥ聞かせてもらっていいですか」スタッフの声でワールド・アンセムが流れる。いつ聞いてもドキドキさせるＳＥだ。明日のみんなの大歓声がすでに聞こえてくるかの様だ。（ここですでに涙ぐんでいる私は何でしょうか…）暗くなってきた為、いっせいにライトが照らされるステージ上。TOSHI が来た。「Ｈｅｙ、Ｈｅｙ、Ｈａｈ、…」マイクを通ってTOSHI の声が高原に響く。ステージ全体を見ようと、客席後方へ行くと、舞台に襲いかかる様に霧がたれこめているのがわかる。すごい情景だ。エフェクターの前に座り込み、スタッフと綿密な打合わせのHIDE ビール片手にアンプの前でやはりスタッフと打合わせ中のPATA。時々空を見上げながら、音のチェックに余念の無いTAIJI 。明日のライブに向けて、今どんな気持ちなんだろう…。

控室はプレハブ式の簡易な物で、野外らしさを感じさせる。TOSHI は疲れていたのか、控室で横になっていた TAIJI も舞台上から戻って来て、ボイス・トレーナーのRoger と何やら英語で話し始める。ＬＡから帰って来てから、なんだかみんな国際人だ。そのうちHIDEもやってきて、賑やかになる。TAIJI は、Roger の持ってきていた小型のビデオ・カメラを借りて（そういえばＦＩＬＭ・ＧＩＧでも、ビデオを持っているTAIJI が写っていたよね）みんなを写したりしている。「ちょっと、本当にちゃんと写ってんの－？」みんながTAIJI に寄って集まって来る。「な、なんだよ、おまえら－（笑）」とTAIJI 。「やめて－カメラ向けないで－」と言っていたのに横になっているのを起き上がってサービス　のTOSHI 。マネージャーがこのイベントのスタッフ用Ｔシャツを配りにくる。「明日はスタッフのみなさん、これを必ず着て下さい」…「TOSHI －、ステージですべらないでね」とディレクター＆Keyboardの津田氏。なごんでいると、「お待たせ、リハいきます」の声で全員いっせいに立ち上がる。ステージ脇にいくと、YOSHIKI がすでにドラムセットの前にスタンバイしている。外はすっかり闇に包まれている。さっきまで客席の芝生が見えていたのに今は真暗闇だ。夜の海の様…。明るいステージでは、TOSHI がローディーに体当りしようとして、反対にかつがれたり（笑）している。スポットが客席後方からステージ上に向けられる。しかし回りは真暗なので、正面の山の中腹からイキナリ光が差込んできている様に見える。…

「Joker 」が始まる。TOSHI がまだ唄い始めていないので、まるでカラオケ状態。どうしても唄いたくなってしまう。どうしてHIDEの曲って歌いたくなるんだろう。みんな、明日唄うためにちゃんと練習して来るかな。

ステージ上にゆっくりと歩いて来たTOSHI のボーカルが重なってゆく。本番もリハーサルも全く変わりないYOSHIKI のドラム。タバコをくゆらせながら、少し猫背気味にギターを弾いていたHIDEも、軽くハネながらウォーミング・アップ。TAIJI は、合間合間にビールをグイグイと飲んでいる。雨がどんどん激しくなってきた。こんな気候の時、虫がたくさん寄ってきやすくなるのだ。どのスタッフからも、虫よけ剤の匂いがする…。

TOSHI は足元をよく確認しながら唄う。そういえばさっき、PATAもブーツの裏にガムテープを貼ろうとしていた。みんな慎重だ。…HIDEは観客がまるでそこに居るかの様に客席を見回しながらギターを弾く。

――― それにしても暗い。辺りが怖い。お客として野外に行った場合は、昼か、夜の観客がワイワイいる時だったりしたが、今日は始めての体験だ。何せ広くて、山に囲まれていて、何も無くて、真暗。バスで行く宿までの帰り道が不安だ。夏の山場は本当に不気味だ。…そんな余計な事はともかく、リハーサルは進んでゆく。何やら笑顔で肩を叩き合っているHIDEとTOSHI 。しばらくして再び曲が始まる。そしてまたブレイク…。その繰り返し…。ブレイクの度に、TOSHI が各メンバーの所に必ず行って、笑顔で何か声をかけている事に気付いた。頼りがいのある兄貴、といった表情だ…。「紅。」ライトが暗くなり、HIDEが紅色になる。両手を高く上げて、YOSHIKI がドラムの前につく。本番の様だ。明日は人の波で一杯になる芝生が紅色に染まっている。思わず客席へ。TOSHI はステージの端から端へと歩いて行って足下を確認する。先程の恐怖はどこへやら、私もスタッフらも含めてみんなが「Ｘ」に見入っている。…雨がかなり激しくなって来る。合わせた様に始まる「ENDLESS RAIN」。つばの広い帽子をかぶって、まさにHIDEはスナフキンの様だ。どこか遠くを見つめながらピアノを弾くYOSHIKI…。私もスタッフらも含めてみんなが「Ｘ」に見入っている。様々な思いを各自胸に秘めて。…

リハーサルが終わると、真暗の山道をひたすらバスで走って宿へ帰る。とにかく何も無いから、怖い。寝たふりをするしかない。今回の宿泊はどう見ても「ホテル」とは言い堅い所だ。各自の部屋も和室だったりして、温泉旅行・又は修学旅行の様だ。夕食も各自の部屋で、という事だったのだが、TAIJI の「みんなで一緒に宴会場で食べようよ」の意見もあって警備やイベンター、楽器スタッフも含めて大人数で大宴会場での夕食となった。ずらりと並んだオゼンの前にあぐらをかいたり、正座したり、寝転んだり（言うまでもなく？Ｐさんでした）。着物のおばさま方が（ゴメンナサイ）ビールやらごはんやらをせっせと運んでくれる。その内、丁度誕生日を迎えた外人スタッフに、TAIJI がギターでTOSHI が唄ってお祝いをするというハプニングもあり、和気合い合いと夜は更けてゆくのであった。（その後、ＦＣは女性スタッフらと共に大浴場に入ったのであった。すこぶる快適なのだった。）

３１日。昼すぎからHIDEのメイクが始まる。（と、いっても和室で、だ）小雨の降る、なんとももどかしい天気だ。他のメンバーの姿を見ないが、まず先に会場へ向かおう。会場までは、大自然の中、渓谷あり、緑に覆われた野原あり、で気持ちが良い事この上ない。Ｘキッズとおぼしき面々がちらほら見えてくると、いよいよリゾートパークへ到着だ。浴衣姿有り、もちろんレース有り皮ジャン有り…殆どがＸファンだ（と私は思った）。ぬかるみに足をとられながらも、みんな今か今かとＸの出現を待っている（と私は思った）。…

◇ＪＴスーパーサウンド・仙台、行って来ました。お恥ずかしながら、私FILM GIG以外のLIVE初めてだったの。もう、最高！YOSHIKI がステージに飛び出してきた瞬間涙がボロボロ出てきました。HIDEちゃんがずーっとニコニコしてたのがすっごく印象的でした。でも、４バンド出てるのにはっきり言って殆どＸのファンなんだもん。すごいよなー。ファンもHIDEちゃん、YOっちゃんがいっぱいいってかんじ…。私はゆかたとうちわで頑張ってきました。FINAL の花火と「SAY ANYTHING」…。なんでこう人を感動させるのがうまいんでしょうか、Ｘってやつはっ！！今考えるだけで涙が出そうです。まだまだ言いたい事いっぱいあるはずなのにわけわかんないや。とにかく感動しました。　（No.19307／小林康子さん）

◆涙もろい人が多いですねぇ。YOSHIKI のがみんなに移ってしまうんでしょうかねぇ。

◇私、背がちっちゃくて、全然見えなかったんですよ。で、一番最後にＳＥの時、FAN の子がみんな前に走っていっちゃって。私もこれが最後のチャンスだと思って、走ったんです。YOSHIKI さんをちらっとだけ見れたけれど、すべってしまって、しりもちついて、起き上がれなくなったんです。あの人だかりの中で。リュックも背おってたし、必死になって起き上がろうとしたけど、ダメで…。

そしたら、女の子が手を貸してくれて。目の前にメンバーがいるのに、私に手を差し出してくれたんです。それでも起き上がれずにいたら、その子が私に「今のうちだぁ、起きろぉ－」ってはっぱかけてくれたんです。その一言で力が出せたんだと思います。やっと起きあがれて「ありがとう」の一言しか言えなかった。人がいっぱいではぐれてしまって、名前も聞けなかったけど、すごく嬉しくて、できればもう一度「ありがとう」って言いたいです。　（No.20361／山形県・伊藤直美さん）

Ｘ　1991　Violence　In　Jealousy　Ｔourが始まります。初日は新潟。新潟と聞いてみなさんは、何を思いますか？私達F･CのM²は何と言っても去年のあの新潟産業センターバスツアーですョ。クリスマスの振り替え公演だったんだけど東京からバス８台連ねて、それにスタッフが二人ずつ便乗して（勿論、私達も）ゲームをやりながら（でも、ほとんど企画倒れの様な気もしたけど‥‥まぁ、いいとして）みんなで新潟へと向かったのでした。ライブが終り、次の日もバスに乗って帰る私達でした‥‥が、酒を飲み過ぎてホテルに帰った私達はぐっすり寝込んでいて、みんながバスに乗りこんで待っている時にスタッフに電話で起こされ「まだお風呂に入ってない」などという事をほざきながら、まだ酔っ払い状態のまま急いでバスに乗りこんだのでした。あの時のファンの方々の冷たい激怒の視線は忘れません‥‥トホホホ。っと長々と思い出話をしてしまいましたが、今回もその新潟からツアーが始まるのです。

５日の夜、新潟に着いた私は、舞台・照明・音響さんチームがステージを作っている中、会場に行きました。何でもいいけど新潟の夜はもう、肌寒い気がしました。会場の中に入ると、まだ、イスも並んでいない状態でステージが作られています。今回のセットはかなり大掛かりなので凄く大変そうです。見ていると、明日からとうとう、ツアーが始まるんだなぁ、と思うとワクワクしてきました。

さて６日。朝１０時に会場に入るとＨＩＤＥがすぐに会場入りしました。一回、楽屋の中に入ってすぐに出てきたＨＩＤＥはステージを見に中に入って行きました。今回のステージは前回のステージ位置と逆なので楽屋は会場の外に組立式の部屋が３つ設置してあってＴＯＳＨＩ・ＨＩＤＥ部屋、ＰＡＴＡ・ＴＡＩＪＩ部屋、ＹＯＳＨＩＫＩ部屋と分かれています。

ＨＩＤＥは会場から出てきて「すごいなぁ」と言って何をする訳でなく楽屋の外をフラフラしています。そのころ、ヘアメイクのなかじが楽屋の中でなにやら怪しげなモノを作っています。美容師さんが練習台として使う頭だけのマネキンの髪の毛をＨＩＤＥの髪型にして、その顔をくりぬいて、もう一つ膝を抱えてまるまっているウレタン（なのかなぁ）の人形に顔をくりぬいた頭をかぶせています。（だいたい、ステージがどんな流れかも私は知らなかったのですが）「これ、何に使うの？」となかじに聞くと「ちょっと待ってて」と言われてしまい私は、お母さんに「ちょっと待っててね」と言われ「なに？なに？なに？」の子供ちゃん状態のまま楽屋の外で待っていました。しばらくして、なかじが持って出てきたモノは、なんとＨＩＤＥでした（じゃなくて）ＨＩＤＥの人形でした。「ＨＩＤＥの部屋で使うんだよ」と教えてくれて「えっ！そうなんだぁ」とやっと謎が解けました。ＨＩＤＥも「すごいじゃん」と寄ってきて「じゃあ、写真撮ろうよ」と記念写真（でも、ちょっと頭が切れてしまいました。ごめんなさい）。楽屋が外にあるので結構、解放的な感じでＨＩＤＥもずっと外にいます。そのうちＴＯＳＨＩが来ました。ＴＯＳＨＩは少し緊張しているのかほとんど楽屋の中にいます。ＰＡＴＡ・ＴＡＩＪＩ・ＹＯＳＨＩＫＩも会場入りして、個人個人楽屋に入りました。久々のこんな光景にドキドキしながら、会場の外でも見に行こうと思い、会場を突っ切ってロビーへ向かいました。もう、イスも並べられイスの上にイベンターさん達がチラシを置く作業をしています（あれも大変な作業なのですョ）。

外に出ると、もう既にたくさんの人達が集まっていてグッズを売っているテントにも凄い列ができていて、ほかの人達はイエベンターさんの誘導で列を作っています。やっぱり、久々のＸのライブということでみんな気合い入れておしゃれしてきてますねぇ。いるいる、ＹＯＳＨＩＫＩ・ＨＩＤＥ・













ＴＯＳＨＩ・ＰＡＴＡ・ＴＡＩＪＩ（外に行って、ファンクラブの取材しよーっと思ってたんだけど、凄い人数が並んでいてあの中に入って行くのがちょっと怖いと思ってしまった根性無しの私を許して下さい‥‥　）。

しばらくすると、リハーサルが始まりました。既に、ＨＩＤＥとＴＯＳＨＩの髪の毛は立っています。音出しが終り、メンバー全員ステージ上にいるのを見ると「わぁ、Ｘだぁ。」と思ってしまうのがなんだか妙に嬉しかったりして。

ツアーの前にリハーサルをしてるとはいえ、会場でリハーサルをするのはメンバーをはじめスタッフの誰もが始めてな訳で、その場になって色々な事が決められるのです。
ステージ上ではマイクを通してメンバーが相談をしながら流れが決まっていきます。「ＨＩＤＥちゃん、ここのタイミングで前に出てきてョ」「ここはどうする？」とＹＯＳＨＩＫＩを中心に今、決めたり。そうこうしている間に舞台・照明・音響さんチームもステージのメンバーの動きに合わせて最終チェックに入ります。

リハーサルも終り、メンバーはメイクに入ります。早目に終わったＰＡＴＡはいつもの様にビールを片手に楽屋の外に出て来てイスに座りスタッフと話をしたりトイレに行ったりしながらほかのメンバーを待っています。楽屋が外にあるだけに結構、解放感がある様です。ＴＯＳＨＩは今回のツアーで一緒にまわるボイストレーナーのリッチと発声練習をしながら準備をしています。ＨＩＤＥもいつもの様に鏡とにらめっこをしながらメイクに余念がありません。ＴＡＩＪＩはかなり緊張しているみたいで楽屋から出てきません。ＹＯＳＨＩＫＩはまだメイク中の様です。

さて、開演時間を（ちょっと‥‥）過ぎてしまいましたが、ＹＯＳＨＩＫＩのメイクが終わりそうです。ＴＯＳＨＩ・ＨＩＤＥ・ＰＡＴＡ・ＴＡＩＪＩは楽屋の外で体をほぐしてみたり、深呼吸してみたり結構、緊張してきたみたいです。ＹＯＳＨＩＫＩが出て来ました。いよいよ、本番です。ＹＯＳＨＩＫＩの「気合入れっぞッー！」「オーッ！」で一斉にステージへと向かいました。

中に入ると客電が消えていてちょうど、ＳＥが流れ始めました。会場の後ろに着いた頃にメンバーが階段から登場。会場内はファンの凄い声で、つぶれそうです。会場には段差がないので後ろの背の低いコたちは背伸びしても見えなかったりで、飛び跳ねています。ＷＯＲＬＤ　ＡＮＴＨＥＭを聞いて「あ〜、涙が出てしまうぅ」と思ったのですが、もっちゃんと「東京ドームまでとっておこう」と約束したので、がまんしてしまいました。ＷＯＲＬＤ　ＡＮＴＨＥＭのあとはやっぱりＢＬＵＥ　ＢＬＯＯＤです。もう既に私はＸのファンと化していました。ＴＯＳＨＩの「元気だったかーっ!!」という声で会場内は一気に盛り上がり「久し振りのライブだぜェ、お前達、体鍛えて来てんだろうなぁ。気合い入れてけよッー!!」と久し振りにＴＯＳＨＩのＭＣを聞かせてくれました。ライブは進み、ＹＯＳＨＩＫＩのＤｒ．ｓｏｌｏが始まりました。スッスゴイ！今回のセットはドラム台が前に出るだけじゃくて、上がって半回転ずつするんだもの。今回のツアーで始めてＸのライブを体験する人も多いと思いますけど、みんな魅了されるんだろうなぁと思いました。次にＨＩＤＥの部屋。天使の羽がステージの上を飛んできます。羽の下に何かついてると思ったら、おぉー！ここにさっきのＨＩＤＥ人形が使われていたのです。ありゃ、近くで見ない限りＨＩＤＥだと思うよねぇ。だって衣裳とかＨＩＤＥの衣裳着せてるんだもの。ＨＩＤＥの部屋もスケールアップしたものになっていました。次はＰＡＴＡとＴＡＩＪＩのＡｃｏｕｓｔｉｃ　ｓｅｓｓｉｏｎ。めちゃくちゃカッコイイ。シブすぎるくらいです。ステージ中心に高いイスを二つ並べ、アコースティックギターを弾くＰＡＴＡとＴＡＩＪＩをみんなボ〜っと見ています。終わると、ＴＯＳＨＩが加わって、Ｖｏｉｃｅｌｅｓｓ　Ｓｃｒｅａｍｉｎｇ。これまた、ＴＯＳＨＩの声が会場中に響き渡り、感動モノ。ＴＯＳＨＩがノドの手術を受けてから心配していた人も多かったと思うけど、この声を聞いてホッと胸を撫で下ろしたことでしょう。ライブの中に今までとは違う、メンバー個々のコーナーがあって、外タレのショー的な面があってイイなぁと私は思って見ていました。終盤になるともう、Ｘ大爆発といった感じですね。Ｘも凄いけど、セットも凄い。ステージの両端からは半分の顔が４つ登場し、ＹＯＳＨＩＫＩの後ろには大目玉。顔の目と大目玉がギョロギョロ動いちゃうからスゴイ。さすが、ＭＡＤ　ＧＥＯＲＧＥ！という感じです。
本編が終わり、アンコール。ＹＯＳＨＩＫＩがピアノ台に上り、Ｅｎｄｌｅｓｓ　Ｒａｉｎ。ステージの照明がキレイでそれだけでも感動してしまいます。会場内は大合唱で、私が見ていたトコの周りの女のコ達は泣きながらＴＯＳＨＩと一緒に歌っています。ＴＯＳＨＩがみんなにマイクを向けると、みんなの声だけが会場に響いて、ステージ上のメンバーは満足そうな笑顔を見せていました。
アンコール２回目。ｊｏｋｅｒ、Ｘと続きます。ＴＯＳＨＩの「大丈夫かーッ!!本気出せよーッ!!エ〜ックス」の声が聞けた事、みんなのＸジャンプを見れた事になんだか凄く感動して胸がキュンとなってしまいました。ＨＩＤＥの「飛べェ、飛べ飛べ‥‥‥やっちゃえオラーッ!!」でみんなのぶちぶち切れる音が聞こえたよォ（そんなわけないか）。Ｘが終わり、メンバーが退場すると、ＳＥのＳａｙ　Ａｎｙｔｈｉｎｇが流れてきて、今日のライブの終わりを告げます。なんともいえない、満足感が体中をつつみ、みんなの大合唱が始まります。みんなの顔も満足した顔をしていました。メンバーがカーテンコールに出て来て会場内は大喜びです。ステージ上を走り回るＴＯＳＨＩとＹＯＳＨＩＫＩ、手を振るＴＡＩＪＩ、ニコニコしているＰＡＴＡとＨＩＤＥ。今回のツアーでステージから投げるものは種類が多いですよォ。メンバーそれぞれのタオル、赤いバラ、今回から新しく登場したフリスビー、そしてＸカップヌードル。フリスビーは遠くまで飛ぶから大きな会場には持ってこいの品ですねェ。この日、いちばん遠くまで飛んだのはＴＯＳＨＩの投げたフリスビーでした。
こんな感じで新潟の一日目は終わったのでした。この後、各地でＸとどれだけのファンが出会えるのかを考えると、ワクワクせずにはいられませんでした。



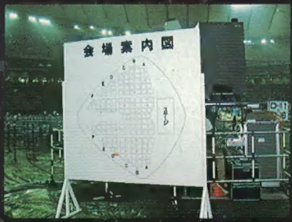










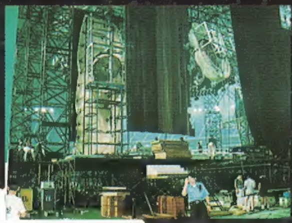












東京ドームレポート

いつもは朝の弱い私が、この日だけは午前6時すぎから目覚めてしまい、9時過ぎには東京ドームの有る水道橋駅に着いてしまいました。すでに見受けられる、レースや黒い過激な服に身をまとったファンの子達。──── 何人ものダフ屋さんとおぼしき方々に「チケット余れば買うよー」の声をかけられるのでありました。今日も暑い…。ファンの子達に混じって、付近の店をのぞいたり、物販スタッフの様子を眺めたりしていたが、時間の経つのが遅くて困った…。ここでひとつお断りしておきたいのは、当日、私もかなり緊張状態にあった様で、高鳴る胸を押さえるので精一杯。午前中はとにかくいろいろな事が頭をめぐり…早くLIVEが始まらないかな、とまるでファンそのものだったのでした。ごめんなさい。
昼を過ぎると、続々と事務所のスタッフ達が到着するのが見受けられます。大会場という事もあり、楽屋への規制がかなり厳しいとの事なので、いつもの様な密着レポートは半ばあきらめていましたが、なんとか入れてもらう事が出来ました。主催者控室と楽屋のある所は全く反対側。行き来をするのも一苦労なのです。芝の上にはシートがきれいにかぶせられ、イスが整然と並べられています。「そびえてる！」といった感じの舞台セット。果てしなく高い天井。…楽屋への入口はステージの真裏。警備員が厳しい表情で立っています。パスを見せて中へ…。あちこちに貼ってある「ＳＴＡＧＥ→」という文字に指のイラストが描かれた紙がおちゃめ（？）です。
「おはようございます」。いつものスタッフの面々…やぱり、心無しかいつもと表情が違う様な気がするのは私だけでしょうか。今なら大丈夫だよ、とスタッフの一人に案内してもらい、まずはHIDE・TOSHI の楽屋へ。入ってビックリ！インド布に飾られた鏡。壁にも。さすがHIDE！と思っていると、ゆらゆら揺れながら（？）本人がやってきました。ファンからのプレゼントだろうか、大きなヒマワリの花束がバケツに生けてあるのを見て「うわ、すげー、本物だぁ」。１本、２本と引抜いて何をするのか見ていたら、鏡の回りや壁に飾り始めたっ。そこで一言…「でも…ヒマワリってこわいな…（笑）」ハッと見ると、少し横でTOSHI はメイク中。マスクをして（スプレーよけでしょう）じっ…と鏡を見つめています…。頑張って下さいね、と心の中でつぶやいて外に出ると、「よぉっ」と元気なTAIJI 。スタッフらにも、まるで緊張をほぐしてあげているかの様に話かけています。PATAは何やらニコニコして嬉しそう。そうですよねぇ。東京ドームですもんねぇ。巨人命！のPATAですもんねぇ（笑）。YOSHIKI の姿はまだ見ていません…。会場内は警備のスタッフが集合したり、と緊張感が増してきています。実施運営本部へ戻ると、電話がひっきりなし…。トランシーバーの怒鳴る様な声と混ざって、なんだか緊張が増幅されます。壁に貼られた予定表によると、前日は21:00 に野球終了予定、24:00 ～基本舞台搬入、6:00～照明搬入、8:00～ＰＡ搬入…9:00～…本当にスタッフのみなさん、お疲れ様です…。外へ出て、ファン取材をします。数時間の内に、みるみる溢れんばかりに人が増えていって、歩けば人にあたる、といった具合。開場が遅れている為、メガホンを持ったスタッフが整理におおあらわ。関係者も続々とつめかけて来た様です。いよいよ、なんだ。…
開場。ブルーだった客席が、人の波で埋まってゆきます。メイクも完了に近づいてきているのでしょう。ずけずけと楽屋に入ってゆくのは控えます。許して下さいね。…今日はなんだか特別だから…。ざわざわと観客の声が響いてくる…かなり入って来たのかな…とステージ脇へ出て見ると！あの時の感動は忘れられません。３Ｆスタンドの最上段までビッシリと埋め尽くされた、人、人、人…。みんなＸを求めてきたんだ、これが全員、Ｘジャンプするんだ…。一緒に行ったスタッフも言葉を失ってしまっていた様でした。────
YOSHIKI が楽屋から出てきます。HIDE、PATA、TAIJI 、そしてTOSHI も…。舞台監督「ここまでいろいろありましたが ──── 頑張っていきましょう！」衣装、メイク、楽屋スタッフ、事務所スタッフ…みんな笑顔です。そして、とびきりの笑顔の後、「いくぞ！」と一段とひきしまった表情を見せてYOSHIKI が走って飛び出して行き、次々にメンバーが舞台裏へと出て行きます。客席ではまだ開演前のＢＧＭが流れています…。ＦＣ担当２人はアリーナの後方、関係者の集まる場所へ走ります。照明が落とされ、目が回る様な、耳をつんざく様な、本当に５万人全員の大歓声。「WORLD ANTHEM」が

響き渡り、両側に設置された特大スクリーンにスモークの中から出てくるメンバーの姿が写し出され…ＦＣ２人共、何故かお互い涙で顔はぐしゃぐしゃ。歓声で聞こえないだろうと、大声で彼女が叫んだのは ――――
「本当に、本当にここまできたんだね。 ―― やってるんだよね、東京ドームで ―――― 。」

◆-LETTER FROM KIDS-◆

◇開演はほぼ定刻通り。電気がスッときえて観客がいっぺんにバッと立ってキャーっｏｒギャーっ。TOSHI さんのＭＣ。ラジオやＣＤの声とぜんぜん違っていて…。とても前日に「ベースボールクイズ」で35000 円稼いだ人と同一人物に見えませんでした（笑）。YOSHIKI さんのドラムソロは凄くかっこよかったけど、その後が怖かった…。Ｘのライブへ行くのは初めてだったのですが、いつもああなんですか？あまりにも怖くて、YOSHIKI 、もう立ち上がれないのでは…と思ってしまいました。私の周辺では「YOSHIKI コール」もしたんですよ。でも結局無事で安心しました。アンコールの時なんかTOSHI さんをおぶって走り回っていましたよね。TOSHI さんの「腹から声出せ！」も聞けたし、走り終わったYOSHIKI さんがTOSHI さんに抱き着くシーンも見られたし（あれは本当に美しい！）「エーックス！」もやったし、何故かウェーブもやったし（笑）やりたい事を全てやって帰ってこれた、という感じがしました。　（No.25622さん）

◇この手紙がそちらに着く時には、もう東京ドーム終わってるのかな…。私は仕事で行かれへん。その日だけとちゃう。大阪城ホールも行けないし、お休みの月曜日に名古屋であるというので必死にチケットとろうとしたけど、アカンかった。この仕事してる限り、Ｘ見る事できひんとか思って、美容師やめようかな、とも思った。
でも、落着いて考えると、美容師やめたり、失そうして他のお店のスタッフの人達に迷惑かけてコンサート行っても、Ｘのメンバーのみんな、喜んでくれないだろうな…と思ったの。私自身も、美容師、中途半端でやめるのもむちゃくやしいし。TOSHI 、PATA、HIDE、TAIJI 、YOSHIKI 。思いっきりあばれてね。大阪でのコンサートの時、堺市にいる私の所にまで聞こえるように…。私、仕事しながら応援してるっ。（あー、涙出てきちゃった…。）いつか会える日を楽しみにしてるよっ。

（No.29080／園山亜紀子さん）

◆ライブに来れなくても、Ｘを応援してるコはたーくさんいるんだよね。一流の美容師になって、Ｘのヘア・デザインとか出来る様になったら最高だね！

◇東京ドームでの興奮がようやくおさまってきたので、個人的な報告をさせて頂こうかと思い、お手紙しました　ＸのＬＩＶＥが他のアーティストと一番違う所は、行った人がたとえ１人で行っても１人じゃないんだ！と感じられる所だと思います。（以前、新潟へのバスツアーがあった時も私は１人で参加したんですけど、しっかり友達を作って帰ってきました。）駅には一目でＸファンとわかる子がうじゃうじゃいて、ホントに嬉しくなってしまいました。ビシっとネクタイをしめた背広の人や、おばちゃんや、ちっちゃな子供がお母さんに手を引かれていたり…。Ｘファンの層の広さに驚かされました。ＬＩＶＥはこれまでになかったくらいに叫んだし、泣いたし踊ったし、飛びました。前にころがり落ちそうになって一瞬我に帰ったとたん、うしろの子が落ちてきました。危ない、危ない…。曲目として、一番嬉しかったのは、PATAくんとTAIJI くんで演った「Pata's Nap」です。「やってくれるなぁ」ってかんじでした。HIDEちゃんのソロは言うまでもなくカッコよかった　ステージがＬＩＶＥ空間からいきなり演劇空間にトリップしたかと思ってしまいました。もう、すごーく良かった。LIGHTINGもメチャこっててＧＯＯＤでした。アンコールのあのメンバー不在の時間も、「もう、何分だって、何十分だって何時間だって待ってやるっ」って思えました。ところでアンコールとアンコールの間に、スタンド席でウェーブが起こっていた事に気付いてくれましたか？私は１塁側のスタンドだったんですが、スタンドでよかったと思いました。ファンの一体感はもう他のどのアーティストにも負けないゾ、と思いました。やっぱりＸファンが最高だな、と。私はＸのファンである事に誇りを持ってますそして、感謝したい…と。いつか、ファンクラブだけでドームをいっぱいにしたいです！

（No.14218／守屋和美さん）

◇当日、会場には様々の格好をしたファンが大勢集まっていました。みんな本当にＸの事が好きなんだなぁと改めて感じました。TOSHI さんがよく「運命共同体」と言いますが、まさにみんなその通りなのです。それにみんなとても優しい人達ばかりで、写真を撮らせてくれたりいろんな情報を教えてくれたり…見知らぬ者同士がこんな形で出会い、知り合う事が出来るなんて…。 ――
ドームの中に入った時は、人の多さに圧倒されてしまいました。私の隣に座った人は大阪の人で、「明日からはいつも通り仕事なのよ」なんて言っていたのを覚えています。客電が消え、５人がステージに姿を現した時、まるで夢でも見ているかの様でした…。ずっと信じて待ち続けて来た事に間違いは無かったと思った瞬間に私の目は涙で一杯になりました。アンコールの「ENDLESS RAIN」での５万人の大合唱は鳥肌ものでした。「Ｘ」でそれぞれ手やポスターなどでＸの文字を形どり、サビの部分で一斉に飛ぶ姿、本当に凄いです。最後、ビートルズの「Let It Be 」が流れ始めてやっと興奮が少しおさまりました。ドームを出た後はただもう呆然としてしまうばかり…。次の日、飛行機で帰り自分の家に着いた時、ちょうどテレビでは東京ドームでの野球中継が放送されていました。昨日は確かにここでＸのライブを見たハズなのに、今日は自分は家に居て、ブラウン管の中のドームではいつもの様に野球の試合をしているのです。１日前の事が何故か夢の様なのです。 ――――

（No.14056／高桑絵里子さん）

◇途中でモニターが故障した時がドラム・ソロの時で、スゴク残念でした。HIDEさんておもしろいですね。カメラ持ってきて記念撮影（？）しちゃうし。歌もうまかった！３時間という長い時間、お疲れ様でした。まだ私は耳鳴りが消えません。頭の中はＸサウンドで一杯です。

（川崎市・大越淳子さん）

◇最後のＸジャンプはビデオでしか見てなくて「やっと自分も出来る！」と、思いっきりやって（飛んで）気持ちよかった！！　（Ｎｏ．２９６５４さん）

◇最初から最後まで座る事なく、Ｘのメンバーと夢の様なひとときを過ごせて幸せでした。一番驚いたのはYOSHIKI のドラムソロの時です。ドラムセットはぐんぐん上にあがるわ、横に動くわで、そこでドラムを激しく演奏しているYOSHIKI は大丈夫なのかしらと少し心配してしまった位です。「Silent Jealousy 」の時に、アルバムジャケットのYOSHIKI とYOSHIKI のデスマスクが映されていたのもとても良かったです。本当に心が震い立たされたコンサートだったのだけれど、バラードの時の手拍子＆寄声はやめて欲しかった。「VOICELESS ～」の時なんて、TOSHI の歌本当にすごく良かったのに…。腹立たしく思えて仕方なかったケド、一生懸命なTOSHI の歌を集中して聴いていました。

（No.21939／三重県・チャッピーJr．さん）

◇アリーナの最前列で見る事ができました。ラッキー！夏休み最高の思い出になったよ。ありがとう。

(No.22979/群馬県・みわさん）

◇PATAさんが巨人のユニフォームを着てたから、おもしろかった。　（No.22488／高橋美奈子さん）

◇東京ドーム超良かった！と、言いたいが、悲しい事に私は行けなかったんです。５万人の人が行ったのにどうして行けなかったんだろうと…。

（No.22484／ＪＵＮＫＯさん）

◇私は彼氏と行ったのですが、のりにのって踊り狂っていた所、ふと気付くと…彼がいない。そうです。あの総立ちのアリーナ席の中、ちゃっかり座っていたのでした　彼いわく「指さされたーこわかったー」と言っていました（笑）。　（No.18347／千葉県・小針ひろみさん）

◇コンサートというものに初めて行ったので、緊張してしまいました。TOSHI サンの姿を見て、写真やテレビでしか見た事ないＸのメンバーがいるんだ…と思い、感激してしまいました。行けなくなった友達の代わりにうちのお母さんが行ったんですけど、すっかりFAN になってしまい、ライバルが出来たようで（母はYOSHIKI が一番好きみたいなのです）なんかみょーに変な気持ちです（笑）。　（No.26068／埼玉県・八木俊枝さん）

◇ドーム最高だったよ。なんて言ったらいいのかわからんけん。うまくいえんけんやっぱり、ありがとう。って言葉しかでてこん。　（No.4557/ジオラマさん）

◇ドームでのライブはこの夏最高で最大のＧＩＧＩになりましたね。その場その土地でのオーディエンスって違うと思うけど、今回の様な大きなライブではＸならではのファンの一体感を使ってメンバーを驚かせる様な事は出来ないだろうかと…。何かファンからしてあげられる事ってないかな…？（ライブで／クラッカー、蛍光スティックetc …）　（No.8111/埼玉県・伊藤法子さん）

◇ドームでは汗を10リットル位かいた様な気がします。「VOICELESS 」は感動して泣いてしまった。ところでPATAさんは東京ドームでキャッチボールをしたのでしょうか？私はPATAさんには悪いけど中日ファンです。今年の優勝は中日でしょう（笑）。

（No.12084／後藤真代さん）

◇私は午前中からドームに行った。ドレスを着たままジェットコースターに乗っていた。（後楽園の）そうしたらトイレでオバさんに「私、千葉から来たんだけど、こーゆーのって今はやりなの？」と言われた。ライブ中、「やりたいようにやっちまえ！」とTOSHI が言ったので私は数回の貧血にもめげず暴れまくり、「Say Anything」を歌い終えると床へバタ…落着いてから周囲を見ると台風が去った後の様にグチャグチャ。翌日、全身筋肉痛の上、のどから食道がすごく痛くて食事もできず、下半身は打身だらけ、足にはマメ…横浜はもっと暴れるから覚悟しとけよー！

（No.15641／千葉県・小野夕美子さん）

◇怒涛のヘッドバンキングで目がまわって、曲と曲との間に何やらヨロヨロふらふらしてました。LIVEの次の日右足のヒザに大きなアザができていた。多分「Ｘ」のジャンプでよろけて前の席にぶつけたんだと思う…イイ記念だぁ…イタイ…。

（No.23878／東京都・「ひでちゃんのあしおと」さん）

◇Ｘのいなかった１年間、すっごくさびしかった。ドーム、最高でした。２度目のアンコールの時、１Ｆスタンドでウエーブしたんですよ。Ｘも凄いけど、ファンの人みんな凄いなと思いました。東京ドームのLIVEビデオ出して下さい！できるだけLIVEのまんま。ドームのLIVEは一生忘れたくない！あの時の様に、また感動したいっ！お願いします！　（No.26399／Ｘさん）

◇初めまして。８／２３の東京ドーム行って来ました。この日が来るのをずっと待ってました。とにかく、23日の日は朝から「これからＸのＬＩＶＥなんだ」ってずっと緊張してました。ＬＩＶＥが始まってメンバーが出て来た時は、自分がＸのＬＩＶＥに再び来ている事が信じられなかった。今、私の前にＸが居る事は現実なのに、なんだか夢の中にいるみたいで…。相変わらずのTOSHI のＭＣでやっと目が覚めたという感じで、気合い入っちゃいました。FAN の人たちも凄かった。こんなにＸの事待っていた人が私以外にもいたんだって…。でも一番凄いのはやっぱりＸですよね。YOSHIKI も普通の体じゃないと言っていたけど、昔と変わらずにDRUM叩いてた。TOSHI の喉も心配だった。Ｘって口だけじゃなくて、本当に何に対しても妥協をしない。本当に待っていてよかった。心からそう思います。

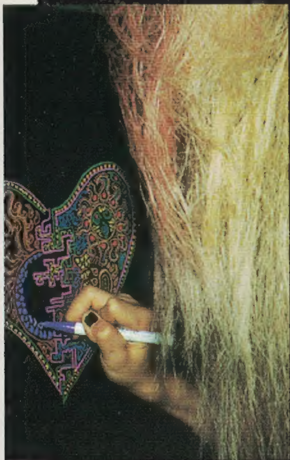
（No.7505/美穂さん）

◇私は京都から再び帰ってきてくれたＸに会いに行きました。巨人の野球帽をかぶって嬉しそうに笑うPATA。ソロでも楽しませてくれたHIDE。ステキなＭＣをしてくれたTOSHI 。だれにも負けないベースで感動させてくれたTAIJI 。倒れても倒れても立ち進もうとするYOSHIKI 。もうＸは出てこないのに「Say Anything」を歌い続けるあたしたちＦＡＮ。一生忘れられないすてきな一夜でした。どうもありがとう。

（No.10417／京都府・ＴＯＭＯＭＩさん）

◇TAIJI さんの曲を２曲共（“JEALOUSY ”の中の）やって下さって…もう私の頭はパラダイス　でした。TAIJI さん、前以上にすごく男っぽくなりましたね。ソロをやらなかったのは残念ですが…カッコ良かったぁ…。

（No.9072/荒井さん）













9／8・9　名古屋市レインボーホール

東京ドームの興奮もさめやらぬうちに、名古屋へやってきました。「レインボーホール」はスーパーでっかい体育館です。細い廊下を歩いて行くと、楽屋があります。すでにHIDEは入っているはずです。やはり「シューシュー」と音が…（スプレーの音）。いつもながら早いですね。（百回位書いてますが）とりあえず会場内を見てみよう…。前日は夜中の12時から仕込みをやっていたとの事です。（大勢のスタッフの力があってこそ、のライブですね）空調がまだ良く効いていないので、暑いです。室内温度は30度近くあります。だれもいない客席にはモヤがかかっています。——————

体育館らしく、プールなどによくありそうな椅子が楽屋などのあちこちにあります。「プロレスにいいよねー」とプロレス好きのスタッフの一言。うーん（笑）。

今はやっている本は、「ティーンズ・ロード」。あちこちでスタッフが読んでいました。知ってる？午前中に届く予定の物販用のグッズが遅れていたのが、ようやく到着しました。「YOSHIKI こっちー」「TOSHI はこのへんー」とは、タオルの事でした。大声で叫ぶスタッフ。バイトの女の子達が大きな荷物をどんどん運んで行きますXにかかわるスタッフはみんな力持ち？ファンはまだ余り集まって来ていません。あと４時間で開演。今日のお弁当は、土地柄「天むす」でした。みんなはおいしい、おいしい、と食べていましたが、エビ・アレルギーの私は食べられませんでした（涙）。楽屋に次々とメンバーが入って来ます。TOSHI はボイス・トレーニングなどがある関係上、YOSHIKI もマッサージや針治療などがある関係上、別楽屋です。HIDE、PATA、TAIJI の楽屋にとりあえず待機。あれ？さっき来たはずのPATAがいない！…と思ったら、長椅子の上で寝転んで一服していました（笑）。TAIJI も一服しながらくつろいでいます。とても静かな時間が流れています。HIDEのそばにはいつも必ずＣＤデッキが置いてあって、何かしら音楽が流れています。今日(9/8) はAEROSMITH の「LIVE BOOTLEG」でしたその他にも数枚、いつも用意してあります。ときどき手をとめてノリながらHIDEのメイクは進んで行きます。…「蒸しタオルー」とHIDE。その次の瞬間、「あちちちちちちち —— ！！！！！」と、HIDEの悲鳴。蒸しタオルが熱過ぎたのでした（笑）。さて、リハーサルはHIDEの部屋から。詳しくは明日またレポートする事にして（FC は一人で取材に行っていたので、２日間あると便利だなぁ）会場前へ、FAN'S REPORTを決行。その模様は別欄を見て下さいね。そんな事をしている内に、開演が迫ってきます。メンバーの用意も整い、いつもの緊張感がやって来ます。…舞台監督の益子氏が来るといよいよ。楽屋を出る直前までＣＤデッキでかけている曲をあれこれ選んでいたHIDE、何やら踊って（？）います。足下に置いてあったジュラルミンのケースに足を「ガツッ」とぶつけていましたが、まだ踊りながら（？？）ステージの脇へと消えていったのでした。「あれ、絶対、痛かったよね…きっと…」（笑）とスタッフ。「Wolrd Anthem」が流れ、名古屋のLIVEの開演です。——————

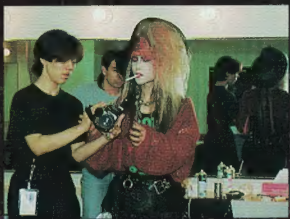
今日の名古屋には筋肉少女帯、フェアチャイルド、ゴーバンズなど、いろいろなアーティストが居るとの事。案の上、食事に行った先で筋肉少女帯の方々と一緒になりました。TAIJI と筋肉少女帯のギタリスト、橘高氏は２人で何やら話が盛上がっていた様で、「今度飲みにいこうね」「電話してね」と約束し合っておりました。

名古屋２日目。凄い！快晴！ビーカン！気持ち良い！青空が隅々まで…しかし暑い（笑）。午後12時。HIDEはもちろん、すでに髪が立っています。早い！エライ！（この言葉を入れないと気がすまないよォ）従って、リハーサルも早い。誰も居ない客席に座ってみます。本番さながら、大目玉登場、HIDEの奇声、不気味にうなるギター…。HIDEはステージ中央まで確認する様に歩いてきます。そして、実際にかつがれて連れ去られて行きます。ステージ上とはいっても、衣装を着る前のHIDEなので、なおさらリアルです。…回りには誰も居ないし、真暗だし（もちろんステージの照明はついてるヨ）見ている内にだんだん怖くなってきて、途中で客席を出ようかと思った（笑）イヤ、ホント…。あの大目玉の裏側を見ました。大変なんです。10人近くの人がついて、動かしているんです。ギョロギョロと会場を見渡すあの目玉…。さて、HIDEがステージ上にいる間、TAIJI はアコースティック・ギターを弾いています。どこに居ても絵になるなぁ…カッコイー…と思っていると、後ろに人の気配…。振返ると、昨日と同じ場所でPATAが寝転んでおりました（笑）。あ、そうそう、新しくなった衣装ケースにHIDEが昨日、ペイントマーカーでさっそく何やら書込んでいたのですが、ステージから戻って来るなり、その続きを書き始めました。ツアーが終わる頃には、黒い衣装ケースはサイケな柄でいっぱいになる事でしょう（笑）。今日のＢＧＭは「YOSHIKI オムニバス・テープ」。思わず胸のギューとなるバラードがたくさん入っていました。（Beatles の" Hey Jude" なども入っているのだ）みんなうっとりと聴いていると、お弁当を手に取ったHIDEがしっとりと一言「中華丼…」（笑）。PATA、TOSHI 、TAIJI は「VOICELESS SCREAMING 」のリハーサルです。今度は同じ真暗な客席でも怖くないぞ（笑）。２つのスポットが糸の様にTAIJI ・PATAに当たり、なごやかにリハーサルは進んで行きます。…会場の外へ出てみます。レインボーホールの隣は県立高校。窓からカーテンがハタハタしていて、はるか昔の自分の高校時代の思い出にふけるＦＣ担当でありました。関係ないか。ごめんなさい。またまたファンの方々の取材をして、汗だくになって会場内へ戻ります：リハーサルは丁度「Endless Rain」。









誰も居ない客席に響くTOSHI の声。みんなが唱う所はYOSHIKI のピアノの音だけが優しくホール内に染みてゆきます。――――――――

ファンからの差し入れの「バナナコーラ」。一口飲んでHIDE「…うっ」PATA「飲めなくもねーな、俺は」――うーん。…ま、世の中にはいろんな物があるっていう事で。TAIJI はJACK DANIEL'S を飲む、飲む。「飲み過ぎちゃったかなぁ」って、あのー…。紙コップでぇぇ…。やっぱりXにお酒は必需品っていう事ですね。さて、音楽雑誌「Rockin' On」を読んでいたHIDE。突然 ――!「✩×◎=◎✲?+★ ――‼」何かと思えば、そこにはHIDEの愛するJane's Addictionの変わり果てた姿が…。「こ、こんななっちゃったのぉおお!!??アンスラックスかと思っちゃったよぉおお」(ちなみに"アンスラックス"とは海外のスラッシュ・バンド。そこのメンバーみたいになってしまっていたらしい)何だかんだいっても、HIDEはカッターでそのページを切り取ると、衣装ケースにテープで貼り付けていました(笑)。開演直前、HIDE・PATA・TAIJI の楽屋に突然入って来たYOSHIKI 。銀の衣装がキレーイ。「好調!絶好調!」と、元気そうです。なんだか凄く嬉しくなってしまいました。今日のライブは絶対良い!とワクワクしてきます。楽屋の外をちらっと見たYOSHIKI 、「"そろそろお願いします"が来たっ!」(舞台監督の事らしい)。楽屋をのぞき込んだ舞台監督の益子氏を待ち構えるようにじっと見つめるYOSHIKI 初め他のメンバー…。「……」 黙ってしまった益子氏。YOSHIKI 「あー、言わなかったかぁ」(笑)さぁ、今日もライブの始まりです。5人集まって、YOSHIKI が「気合い入れるぞ!!」全員「おーっ!!」その後、小声でHIDE「の、のりおくれちゃった」(笑)しばらくしてから大音量で響き渡る「WORLD ANTHEM」。

―――――― HIDEの部屋の次は昨日は演奏しなかった「VOICELESS SCREAMING 」があります。TAIJI とPATAはアコースティック・ギターを楽屋で弾き始めます。今はステージでYOSHIKI のドラムソロをやっています。ここまで響いて来るドラムの音…。火をつけるとピヨピヨ音のするライターをHIDEはずっとならしています。しん…としてファンの歓声が聞こえると、HIDEがすっくと立上がり、HIDEの部屋のスタンバイです。少ししてから、特効の「バン!」という音…。その中で優しく流れる、ボーカル抜きの「VOICELESS ~」。美しいメロディ。PATAとTAIJI は椅子に座って向かい合って弾き続けます。…赤ん坊の泣き声のSE。HIDEの部屋が始まった様です。…と同時にTAIJI ・PATAの奏でる曲が終わり、2人ともニッコリ。―――――― もちろん、本番はバッチリ。今日の1回目のアンコールのHIDE'S衣装はおニューです。インド綿からサイケな柄のものへ。冬用ってカンジ?「オルガスム」が終わって、楽屋へ帰って来たHIDEに衣装を渡したスタッフ、「間に合ったァ」。ギリギリまで縫っていたのです。そんなこんなで、2日間のステージは終了。この日の夜は、名古屋ではおなじみ「5時サタマガジン」の取材・収録がなんと打ち上げ会場で行われました。狭い所にダイの大人がギューギューと…(笑)カメラマンの方なんか、カワイソーだった…。お疲れ様デシタ…。

9/14・15　大阪城ホール

ラジオを聞くと、博多ー広島間では新幹線が止まってしまっている様だ。台風が近付いている大阪。X台風も吹き荒れるであろう大阪…。遠くからやってくるファンの子達がちゃんと来られるか心配だ。

12:00 。HIDEはもう来ている(わかってるって(笑))。今日のHIDE'S BGMは「BOW WOW 」。いつかFMの番組で流した「天国行超特急」だ。トレーナーのChris の所へ飛んで来たYOSHIKI 。何やら英語で会話…。はたっとカメラをいじっていたFC担当へ「ファンクラブで新しいカメラ、買ったのー!?」「え、ええ(とまどう)凄く良いカメラを買ってもらえて…」「おめでとうっ!!」そうなんですよぉ。あ、あ、ありがとうございますぅ。良い写真をたくさん撮って、会報に載せるぞぉ。

メンバーは全員会場入り。Chris の所へやって来たTAIJI 。手首をマッサージしてもらう。…見守るスタッフ。表情は笑顔で元気そうなので、一安心。ここでも2人は英語で会話(アタリマエか)。

Chris「@×*#?」

TAIJI「Yes、…Yes、…。」

私も英語をもっと勉強しないと、レポート出来なくなってしまう…(涙)。PATAはしばらくうろうろして、ビールを手にさっそく一杯。用意されていたお菓子類の上にカバンをのせていたPATA(笑)。スタッフ「あああ、カールがつぶされてるー」ファンクラブ通信販売用サンプルのPATAグッズコースターをお菓子のクッキーの中にまぜたり、とおちゃめなPATA。後でわかったのだが、TAIJI がひっかかって食べようとしてしまったらしい(笑)。HIDE・TOSHI の楽屋では、2人で談笑中。

今Tour中、一緒の楽屋になる事の多かったこの2人、ラジオ番組などでも時々名コンビ振りが披露されますが(その時はPATAが参加すると尚更おもしろくなる(笑))楽屋の中も…DJコンビの様でした(笑)　(そーいえばドームの時も同じ楽屋で、メイク中に野球の話か何かで盛り上がっていたなぁ…)

ここでも大人気のFC用カメラ「EOS1」。「スゲーな、ズームの反応が早い」「ターミネーターみてぇ」キーボードの方から、マニュピレーターの方から変わるがわる手に取ってファインダーをのぞき込んだりしている。

「Oh,Yeah 、 ―― All Right!」TOSHI がトレーナーに答える声が聞こえ、今日もリハーサルの始まりだ。何だかみんな元気だ。ステージを見ようと会場内へ入ると、ドラムセットの前でスタンバイしているYOSHIKI 。ドラ



ムに向かって、厳しいまなざしで手をかざしながら微妙にセットしてゆく。叩き始めると、床がビリビリしてパワーが伝わって来る。…

会場の外へ出てみる。台風の影響だろうか、ものすごい強風。どこからかＬＩＶＥの音がする。つられて歩いて行ってみると、野外音楽堂でイベントが行われていたとりあえずパンフレットを持って大阪城ホールへ戻って来る。TAIJI 「あ、レジスタンスが出てるね！」仲良しなのです。楽屋で一躍話題になったこのイベント。

メイクの始まりだ。あちこちで先程のリハーサルのテープの音が聞こえて来る。PATAはキーボードの小森氏と談笑中。ファンからのプレゼントや花束がどんどん運ばれて来る。みんな、ちゃんと届いてたよ！ありがとう。まず一番に支度の整ったTAIJI 。「あと１時間以上あるな」とＣＤデッキに手をかける。ＣＤケースからＣＤを選んで、しばらくしてBlues が流れ始める。名古屋のレポートにもあったが、Ｘのメンバー各々、みんないつも必ずそばに音楽がある。長イスでくつろぐTAIJI 。

TAIJI 「～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～」

PATA「眠いんだよ、オレも。メイクしながら寝ちまったよ」

TAIJI 「～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～」

ＣＤが終わり、今度はPATAがテープをかける。メイクの途中でギターをひっぱり出してきて、弾き始める。…ここは「Blues 」&「ROCK'N ROLL 」な楽屋だ。

YOSHIKI &TOSHI は、それぞれトレーニングなどがある為、楽屋内に入っていく事は出来なかった。HIDEはというと、お弁当をつんつんとつついたりしながら、髪をゆらゆらさせている。届いていた花を一本手に取って、口元にくわえてスタッフを追い回したり、と（笑）元気一杯？だ。―――――――― そんなこんなで開演が迫って来る。TOSHI ・YOSHIKI の楽屋の前で待っていると、まずTOSHI が出てきた。続いて隣の楽屋からYOSHIKI 。髪を指先でつまみながら、ゆっくりと歩いて来る。

TAIJI ・PATAの楽屋に入ってくるなり、「気合い入れるぞ！」「おーっ！」はっと気付くと５人全員がちゃんと揃っている！スタッフ「またHIDEちゃんがのり遅れてる（笑）」。舞台ソデに行くまで、細く長い廊下が続いている（ビデオにも映っていたよね）。「いくぞーっ」「おりゃーっ」と、時々笑いがもれながら各々声をかけ合うメンバー。今日はなんだか凄くイイ。時間もほぼオン・タイム（予定通り）。「Woird Anthem」が始まる直前、ちょうど舞台の真後ろにもぐり込んだ。客電が落とされみんなの歓声が最高潮に達しているその頃。――― さかんにかかえたギターで指を慣らすPATA。きっ、とどこかを真直ぐ見つめるTAIJI 。笑顔のHIDE。とんとんと跳ねて体を暖めるYOSHIKI 。トレーナーと向かいあって体を慣らし、どんどんひきしまった表情に変わってゆくTOSHI 。客席側から見るよりも別の感動が来る。歓声が真正面からおそってくる。―――― 大音量で流れる「World Anthem」。スモークがたかれ、裏から見て左側の階段にHIDE・YOSHIKI 、右側の階段をTAIJI ・PATAがゆっくりと上がってゆく。その直後、再びおそう歓声。前から体ごと押されている様だ。最後にTOSHI がゆっくりと左側の階段を登ってゆく。――――――――

「BLUE BLOOD」直後のTOSHI のＭＣ「ちょっと一言いわせてくれ。――― すべてが真実でないにしても、俺の心にもスキがあったと思う。――― ごめんなさい」大歓声。「この場を借りてＸのメンバーにもあやまりたい。――― ごめんなさい」直立して頭を下げるTOSHI 。笑顔で見守っているメンバー。「今日は気合い入れていくぞ！！」更に気合いの入ったＭＣが会場を埋め尽くしたKIDSたちを狂喜させた。やっぱりＸだ。あのTOSHI のＭＣがすべてを一瞬にして吹き飛ばした。心配無用だった。――――――――

楽屋はスタッフ達の食事タイムとなっていた。楽屋チームだけでも結構人数は多いのに、冷ややかなムードとは無縁のメンツだ。自然と集まって、その内笑い声が絶えなくなる。Ｘを支えているスタッフも、みんな運命共同体なのだ。

「メンバー、もうそろそろ戻って来るよ」HIDEが戻って来て、これからHIDEの部屋。HIDEを連れ去る、謎のマスク隊も集合している。「ねー、一緒に写真撮ろうよ！」はい、ポーズ。うーん（笑）。HIDEがスタンバイして出て行く。その直後に流れる怪しげなＳＥ…。廊下にでると、ドラムソロの終わったYOSHIKI が戻って来た。マネージャーとトレーナーら３人がかりで両腕を支えられ、ゆっくりと歩いて来る。足に力が入っていない様で、ゆらゆらとゆれながら…。カメラを向けずに、私は楽屋へ戻る。HIDEの奇声の中、YOSHIKI の楽屋の前で待つ。HIDEの部屋が終わり、ピアノソロの前のＳＥが始まる。なかなかYOSHIKI が出てこない。ドキドキしてくる。大丈夫だろうか。ギリギリにドアが開き、にっこりと笑顔のYOSHIKI がゆっくりと出てきた。舞台へ向かう細い廊下をトレーナーのChris 、ドラムテクニシャンのRichieと優しく話しながら、ステージへと向かうYOSHIKI 。衣装のレースが足下で柔らかくひるがえる。――

TAIJI は足のマッサージを受けていたが、HIDEの部屋から帰って来たマスク隊の一人がアミタイツに上半身裸のままTAIJI の楽屋に入ってきた。












TAIJI「もーっ（笑）」――――――――――

大阪は裏方のレポートにしようと思っていたので、ライブは完璧に見る事はできなかったが、アンコールで会場内に入った時のもの凄い暑さでどんなライブだったかは…御想像の通り。その後――――――――――

大阪に来ていたおなじみの雑誌「ロッキンｆ」のPATAの取材が打ち上げの会場で行われた。ゆったりと、お酒を飲みながら、普通に会話をしているだけの様にすすめられる取材を見学させてもらっている内に、プロはやっぱり凄いな…と感動したＦＣ担当であった（笑）。お気に入りのギタリストの話で盛り上がり…（チャー、ジミー・ペイジ、リッチー・ブラックモアetc …ね）。

PATA「ホントに阿部さん（ロッキンｆの編集長）まとまるの？」

阿部氏「まとめますよ。それが魔術師と呼ばれるゆえんですから（笑）」

「おもしろくなりますよ」と阿部氏。

テープが止められてからも話は続いている。夜は長いのだ。阿部さん、お疲れ様でした（笑）。

９／２４　広島サンプラザ

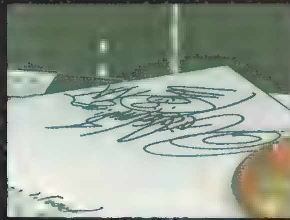
秋が深まっているなぁ…といった気候の中、広島へと出発したＸ御一行。いつになくエスニックな雰囲気のPATAにYOSHIKI「何ジンだ？（笑）」。その後、PATAとTAIJI は２人仲良く並んで何やら笑顔で話しながら、乗り場へ向かっている。暑い夏の時の移動とは違い、なんだか旅行気分…のわけはない。何故なら、明日は２年振りの広島でのライブなのだ。バスの中でYOSHIKI は…流れてゆく外の景色をじっと見つめていた…。

広々とした道を車で数十分。広島サンプラザ。入場口までに小さな庭園の様なものがあったり、緑が会場の回りにあふれている、感じの良いホールだ。今までと比べると少し小さめの楽屋では、もうTAIJI が早速ベースを弾いている。TOSHI はボイストレーニング・ルームの中だ。HIDEはずっとドライヤーをならしている…と思ったら、マニキュアを乾かしているのだった（笑）。PATAのグレーのトレーナーを良く見ると…やっぱり。" PINK CLOUD"（チャーのバンド）のトレーナー。「もらったんだよね」と嬉しそう。そんなに好きなのね。そのうち、あくびを一つすると、PATAはふら一りとどこかへ行ってしまった（笑）。つ、ついに眠りに入るHIDE。でもここまで読んで誤解しないでね、みんな。気合いが入ってないわけではなくて、リラックスしてるんです。開演までかなり時間があったので…。こういう時は時間のたつのも不思議と早く感じるもの。リハーサルが始まり、私は会場の外へ行ったりファンの子を見に行ったりしている内に夕暮れを迎える。数時間してから楽屋に戻ると、メイクさん達がせわしなく動き回っている。一日の内で彼女達が一番忙しい時間帯だ。緊張感がどんどん高まってくる。今日はTAIJI の表情が特別優しい。HIDEの今日のＢＧＭはGUNS'N'ROSESの新譜だ。なんだかいつになくワイルドな楽屋…。ステージへ出る直前、YOSHIKI がやってきて、恒例の「気合い入れるぞ！」。でも、何も言わずにニヤニヤとYOSHIKI を見つめるTOSHI に「もォっ」とポンと肩を叩くYOSHIKI 。――――――――――

会場が真暗になり、歓声が波の様に押しよせ、「WORLD ANTHEM」が鳴り響き、メンバーが光の中から登場するHIDEは舞台ハジまでスキップ。ステージ中央でYOSHIKIが思い切り片手を振り上げると、大歓声。「BLUE BLOOD！」男の子の姿が目に付く。イスを倒してのりまくる。すでに熱気で暑くなる。「SADISTIC DESIRE 」では、会場中がレーザー光線の渦の中に飲み込まれてしまった様だ。「広島は２年振りだからな！気合い入れるぞ！」と言ったTOSHI の言葉に答えるかの様に、一体となってＸに襲いかかる５千人の観客。真白い照明が差し込み…、「DESPERATE ANGEL 」。みんな手を振り上げて大合唱。席から離れて踊りまくる。「TAIJI 〜！」ともの凄いダミ声（ゴメンネ）で２Ｆから身を乗り出して叫ぶ男の子発見！…PATAがブルーのライトに照らされ、空間にギターの音がざっくりと入れられ…全員で発狂大会となる新曲「STANDING SEX」！！レポートしている手が止まり、私まで暴れたい衝動にかられる。（でもここでは暴れられないこのつらさ！）HIDEはハネ狂っている。嵐が過ぎ去った様に曲が終わると、YOSHIKI は這いずるようにドラムセットの前から出て来て、TOSHI のＭＣの最中も肩を回したりしている。YOSHIKI ファンらしい女の子は、心配げにステージを見つめている。

おなじみ「WEEK END」と続き、白いライトに目がくらむと ――― YOSHIKI のドラムソロが始まる。ライトの光がステージからあふれ出る。今回のツアーでよく見た光景だが、観客が直立不動になってしまっている。まるですいこまれる様に。心臓の鼓動が早くなってゆくのが自分でもわかる。大きく舞台上の床が開き、ドラムセットが前にせり出して来る。どんどん高い位置へせり上がってゆくYOSHIKI 。少しステージから遠い場所で見ていたのだが、乱れるYOSHIKI の髪や顔が見えると、尚更リアルに感じる。歓声、というより、悲鳴に近いファンの声と、ドラムの音、恐怖感を掻立てるＳＥで、頭がどうかなりそうだ。バスドラが足下の床から突き上げる様に体









に響いて来る。こぶしを握りしめてじっとYOSHIKI を見つめる男の子が目の前に居た。 ――――――― そういえば、とある新聞のコンサート評の欄に「ステージ上で倒れてみせるYOSHIKI 」とあり、かなりの数のファンから「倒れて見せてる、なんて、ヒドイ」「この書き方は許せない」等の手紙が寄せられた。私もあの記事を読んだ時、少し悲しかった。あのドラミングを見れば、あの倒れ方が演出ではない事ぐらい分る筈だ。と同時に、「倒れて見せる」などと書く記者の方々にも、もっとXを理解して欲しい…と思った。 ―――――――――――

またまた心臓に悪いコーナーがやって来た（笑）。サスペリアのテーマが流れ、寒気が全身を襲う。 ――――

HIDEの部屋。Xのライブには欠かせない、もう一つの世界。グリーンの光の海から、ゆらゆらと天使登場。顔の部分がライトになっていて、不気味だ。２Ｆの観客は皆身を乗出している。スモークの中からHIDE登場。あれだけ熱かったのに、なんとなく冷気が漂ってくるから不思議だ。HIDEが歌い始める。ステージのハジまでふらふらと歩いて行く。何かにとりつかれている様だ。みんないっせいに１つの方向（HIDEだ）を見つめて動こうとしない。レーザー光線が会場の空間の中で波打つ。照明がライトグリーンに変わり、いよいよ大目玉登場だ。今まで自由に空間を操っていたHIDEを監視するかの様だ。

さっきまで「HIDE－！」と叫んでいた女の子は、今は手で両頬を覆ったまま、動こうとしない。その内、マスク隊が出てきて、バタバタと暴れるHIDEを連れ去る。それをさも楽しそうに見届ける大目玉の瞳。あの後、HIDEがあの大目玉の生けにえになるのもおもしろい…

無機質なＳＥが会場中に響き渡り、儀式は終わる。

柔らかいライトがステージ上に照らされる。ゆっくりとTAIJI 、PATA登場。これを待っていた人も多い筈だ。優しいアコースティック・ギターの音色と共に「PATA'S NAP」。誰かが「あの曲って、本当にPATAみたいな曲だよね」と言っていたのを思い出した。弾き終わると、TAIJI がニッコリとしたのが想像出来た。（実際は遠くて見えなかったが）。TOSHI が現れる。水を打った様に静かな客席。実際は歌っていないのだが、まるで一緒に歌っているかの様に体を揺らす女の子も居る。今、会場の中にある光はステージのオレンジ色の光と、客席後方にある非常口のグリーンのライトだけだ。時には語りかける様に ―― そして訴えかける様に ――TOSHI は歌う。叫び声の如く、バイオリンが鳴る。HIDEやYOSHIKI の時とはまた違った浮遊感が、体を包む。静かに曲が終わり、大きな歓声が起こった瞬間、ハッと気づくとステージには柔らかく赤い照明を残してもう誰も居なかった。

次に目に飛込んで来たのは、鮮やかなブルー。YOSHIKI の衣装の色だ。ここまで来てよく考えると、Xのステージは色彩的な部分もとても心に残る。ゆっくりとピアノへの階段を上がってゆくYOSHIKI 。割れんばかりの歓声の中、客席の方へ顔を向けて、首をゆっくりとかしげる。 ―――――― 繊細なピアノの音には、やはり伝統的でクラシックな香りがする。どんなに機械やコンピューターが発達しても、この音に勝つ事は永遠に出来ない筈だ。まるで親しい知人と話しでもしているかの様に、YOSHIKI はピアノに向かっている。そして ―――――――― TOSHI がゆっくりと歌い始める―――――――――― Silent Jealousy . Don't you leave me alone　悲しみに乱れて ―――――――― 会場が一斉に湧く。４つの大きな顔も登場。ここでのライティングは、きらきらと光る金色、といった感じだ。それにしてもどうしてこんな曲が出来てくるのだろう。切なく、心の奥底に触れて来るかの様なメロディー。最近、何を歌っているのかわからないバンドが多いけれどTOSHI がぶつけてくる歌詞の一言一言は、見ている者の胸に容赦なく突き刺さる。ギターソロでは、HIDE、PATAがステージ中央に並んで飛び出して来る。TAIJI は渋く決めている！そこで又、大きな歓声。 ―――― 狂喜（狂気？）のひとときが終わり…「前回広島に来た時より今日はおまえら、カラフルだな！せっかくだからド派手にやってみようぜ！」

「自由に ―――― 自由に行けよ！！」と、TOSHI のＭＣ。HIDFが前に出てくると、次は何かもう分るはず。"Celebration"?! 違う。「Are you ready? ―― All right, ――― Joker!! 」こちらはがぜん元気が出る曲だ。ゆ、床が揺れてるっ！ ――― Joker!　Makin'love with the money Tonight!　客席へ飛び込んでしまいそうな勢いでHIDEがギターを操る。今度はお客のみんなが何かに（もしかしてHIDFに？）取り付かれた様だ。広島サンプラザはお祭り騒ぎ。客席をじっと見つめて、よしよし、と首を振るTOSHI 。「Thank you.広島!!」 ――「ラスト・ナンバーいくぜ！てめーらの本性見せてくれよ！」凄い勢いでこぶしが上がる。こりゃー、広島はハンパじゃないぞ。狂った様にギターを振り回すHIDE。PATAも右ハジまで来てあおる。TAIJI はドラム台の上に足を掛けて、YOSHIKI の方へまるであおっているかの様に体を向けている。こんなシーンがまたカッコイイ！

「気合い入ってんのか！やるときゃやれ！」「スタンド！」「アリーナ！」反応して返ってくる声も凄い。Xのファンは一致団結する事ではどこにも負けないだろう。

「おまえらならもっとできるハズだ！やっちまえ！！」

YOSHIKI が途中、ドラムから転がる様に這い出す。



「Say,Yeah,Yeah,Yeah!」ヒラヒラロングスカートの女の子、ボディコンの女の子、すでに上半身裸の男の子、みんな手を振り上げる。「足りねーんだ、コラ！」TOSHIも負けずにあおる。な、なんと、今日は客炭（客席炭酸：YOSHIKI がCO_2 を客席にまく）がある！最前列は大混乱！イスを投げようとしたり、YOSHIKI へ向かって飛び込もうとする客もいる！私の居る所からは良く見えなくて残念だったが、後でスタッフから聞いた所によるとかなり凄い状況だったらしい…。ケガしちゃ困るけど、なんだかXっぽくてカッコイイな、と思った私は不謹慎でしょうか？しばらくしてイキナリ真紅の衣装で登場のYOSHIKI は、TOSHI に後ろから思い切り抱きついて離れようとしない。HIDEとTAIJI は何やら合図して、右と左に分れてそれぞれのやり方で客をあおる。「ここまで届かせろ！」と、TOSHI がドラムの前にスタンバイしたYOSHIKI を指さす。モニターに足を掛け、客席を覗き込むTAIJI 。前日も２人一緒に飲みに行っていたHIDEとPATAは、さすが息もピッタリ！「暴れろ ————！！」ドラムセットをこれでもかといわんばかりに壊しまくるYOSHIKI 。ステージ上にそびえる５つの目が、すべてYOSHIKI を見守っていた。————

鳴りやまないアンコールの後、「２年分の思いを込めてこの曲を送るぜ」YOSHIKI にスポットライトがあたり、舞台は深い海の底の色に変わる。ENDLESS RAIN。ミラーボールが回る。大合唱。それぞれの思いが、今まで起こったいろいろな出来事が、涙が、笑顔が、すべてこの場に凝縮されている様だ。みんなが歌っているのをまぶしそうにYOSHIKI は見渡している。————

おなじみ、HIDEのギターが鳴り始めるとみんな爆発の準備段階に入る。「紅だ ————！！！」広島サンプラザが真紅に染まる。まさに一体感だ。観客全員が揃っていて、とても美しい。ただ、…ちらほら帰らなければならない子達がいたのが可哀そうで、胸が痛かった。中は暑い。湿気、熱気、すべてが充満している。酸欠で運ばれる人も居る。スタッフの１人がロビーに出てきて一言いった。「やっぱり前代未聞だよ、Xは ——」アンコール！強い声が、ロビーにまで響いて来る。「紅」が終わった後の楽屋。せわしなく着替えるHIDE。「おー、こんな時間か…」とPATAがポツリ…。TOSHI はキュッキュと首を傾けてみたり、肩を押してもらったりしているTAIJI はマルボロをくわえて何か考えてる様子。…楽屋には入る事は出来ないが、YOSHIKI は大丈夫なのだろうか…。「行こう！」YOSHIKI が飛び込んで来ると、みんな気合いを入れた表情でステージへと向かってゆく。２年振りの広島、最後のアンコール。ステージでは……。水を頭からかぶるYOSHIKI 。「悔いのねーようにやれよ！」と、TOSHI 。「20th Century Boy」。カラフルな風船が舞い落ちてくる。アリーナが色とりどりに染まる。スタンドの最後列にずらりと並んだ男の子の軍団も、揃ってモンキーダンスしている。もう、前の方はぐちゃぐちゃだ。「ヤローども、本当のハダカの付合いしようぜ」YOSHIKI が両手を高く上げ、Xだ！HIDEがボールの様に跳ねる。ステージ前方から、CO_2が吹き上げる。スタンドの子達など、アリーナへ落ちてきそうだ。床がビリビリする。疲れを知らないとはこの事だ。みんな手に手にポスター、タオル、旗、服、もう何でもかんでも持って、振りまくっている。X！飛んでいない奴は一人もいないんじゃないかという位、揃って飛ぶ！YOSHIKI の側へTOSHI が寄り添って、今にも抱きかかえんばかりだ「We are!」「X！」「We are!」「X！」「You ARE!」「X！」この場に居る全員がXだ。「飛べ飛べ飛べ飛べ！ぶち破れオラー！」HIDEがマイクスタンドを跳ね飛ばす。目が痛くなる位あふれんばかりの光の渦の中、広島のライブは幕を閉じる。呆然としていると、レーザー光線が差し込み、" Say Anything" が流れ始める。照明が客席にてらされ、みんな唱い出す。スタンドには手に持ったポスターをまだXの形にさせたままの人がちらほらと見える。ステージが明るくなり、YOSHIKI がバラを手に飛び出して来た。帰ろうとしていたファンがどっと前に押し寄せる。TOSHI はタオルを手に、ゆっくりと歩いて来た。PATAとTAIJI は２人並んで登場。HIDEはフリスビーを手に走って来た。警備員に注意されても、みんな椅子から降りようとしない。そのうち、５人自然と集まって来てバンザイ！額に人差し指をあててみんなにバイバイ、のTAIJI 。ニッコリ、のHIDE、PATA。腕がちぎれんばかりに大きく手を振るYOSHIKI 。後ろの方までゆっくりと見渡して満足そうなTOSHI 。————

アナウンス「本日の公演はすべて終了致しました。」館内放送では、最終電車の告知をしている。「急げば間に合うと思いますので ————」会館の方も、必死だ。しかし、こんなアナウンスって急に現実に戻るからなんとなく寂しい…と思ったら、ファンの子達は聞いちゃいない。顔を真赤にして、さかんに何か友達同士で話に夢中だ。彼らの見たのは夢ではなく、現実のままなのだ。

その後、広島でのライブ終了後の食事会（俗に打上げとも言う）では、イカ　ずくしの店に連れて行って頂き、板のうえでふにゃふにゃと動いているイカくんがどうしても食べられず、ＦＣ担当はRICHIE&CHRISの外人さん部隊に「SQUID!SQUID!（イカの事）HAHAHAHA-!」と、後々までイジメられる事になるのでした（笑）。

ＦＣより一言…今回、各会場で取材させてくれたファンのみんな、本当にありがとう。一人一人コメントももらっていたんですが、スペースの都合上掲載が不可能になってしまいました。本当にごめんなさい。メンバーへのメッセージは必ず伝えますので…出来上がった写真も送ります。ゴメンナサイ…。

速報！ X POWER STATION



速報！X　POWER　STATION

さすがに小さい会場。キャパは1000人もありません。チケットは本当に争奪戦だったのです。POWER STATION は新宿の雑踏を抜けた、大通り添いにある日清食品のビル内にあります。午後６：３０。開演の３０分前、チケットが手に入らなかったファンがビル前にあふれています…。今日のチケットは余裕で十万円位で売られているとの事…（ダフ屋関係で、です）ビル前に置かれた立て看板には、「Ｘ」の文字が見えます。中へ入ると、１Ｆは客席（といっても今日はオールスタンディング）と少し高い所にステージ、２Ｆはスペシャル・ディナー・シートと言って、普段は食事をしながらライブが見られるという、ＶＩＰ気分の席。しかし今日はイスやテーブルが取り払われて、取材人の席になっています。３Ｆは関係者のスペース。普段はお酒も飲める、立席です。（もちろん、今日もお酒が用意してある…）バンド関係といった感じの方々が大勢来ています。さすが友達の多いＸ…客席をのぞき込むと、すでに波打ち状態。大丈夫かなぁ…。「押さないでー」の声が聞こえます。心配です。…さあ、いよいよ今日のメニュー「Ｘと仲間達」の始まりです。トップバッターは「KUMA-chan BAND」。KUMA-chan というのはHIDEのローディーの男の子です。これがまたなかなか歌もうまい。この公演の司会アシスタント（と自分で言っていた）TOSHI は、ギターで参加。「LUNA SEAにあわせた」という衣装で、さっそく大盛上がり大会。３Ｆの関係者フロアーで、出番まで間のあるHIDEがまるで子供を見守る親の様にニコニコとステージを見守っていたのが印象的でした。少しのブレイクの後、次はPATA's session。ビデオ・ディレクターで有名な後藤氏も交えた渋めのバンドです。関係者はみんな身を乗出して見ています。うーん、やっぱりカッコイイなぁ。

そして…カッコイイＳＥと共にガスマスクを付けたメンバーの一人が登場すると、会場中は歓声のウズに。…次々と出てくるメンバー全員がガスマスクを付けてる！いわずもがな、HIDEのバンドです。ＣＯ２を撒き散らしてHIDE登場。マスクを思い切りはがして客席に突っ込みそうな勢いでボーカルをとり始めます。こちらもまた違ったカッコ良さ！うー…たまりませんっ！ジャケットを脱ぎ捨て、最後にマイクを叩きつけて終わると、後ろのバンドマンらしき男の人が一言…「カ、カッコイー」

いよいよＬ．Ｏ．Ｘ．の出番です。白鳥 麗 がドラムでその他のメンツもこの関係ではバリバリの大御所。とにかくかっこ良い。一番ハードで、男っぽいバンドだ。固まってしまっている内に、無敵ＢＡＮＤ。これはもう、数十人が入り乱れての大セッション大会。Ｘのメンバーはどこにいるのやら、肩を組んだり、一緒に客をあおったり、各メンバー同士、大騒ぎ状態でLIVEは終了したのでした。あと２日…どんな企画が待ち受けているやら…

１０月１７日／～Ｘと仲間達～

①ＫＵＭＡ－ｃｈａｎ　ＢＡＮＤ
・ＦＬＹ　ＨＩＧＨ
・ＪＵＳＴ　ＯＮＥ　ＭＯＲＥ　ＫＩＳＳ
<メンバー>Ｖｏ：ＫＵＭＡ
Ｇ：ＩＮＯＲＡＮ（ＬＵＮＡ　ＳＥＡ）
Ｇ：ＴＯＳＨＩ
Ｂ：Ｊ（ＬＵＮＡ　ＳＥＡ）
Ｄｒ：ＥＢＩｃｈａｎ（EXTACY RECORD ）

②ＰＡＴＡ　ｓ　ｓｅｓｓｉｏｎ
・ＪＥＦＦＳ　ＢＯＯＧＩＥ
・ＦＵＮＫ　Ｎ　ＲＯＬＬ
・ＹＯＵＲ　ＬＩＫＥ　Ａ　ＤＯＬＬ　ＢＡＢＹ
<メンバー>Ｇ：ＰＡＴＡ
Ｂ：ＨＯＳＯＩ（ROCKIN'f）
Ｖ：ＧＯＴ（SONY RECORDS）
Ｄｒ：岡部俊彦

③ＪＡＺＶＡ
・ＮＥＷ　ＲＯＳＥ
・ＺＩＧＧＹ　ＳＴＡＲＤＵＳＴ
・ＬＯＶＥ　ＳＯＮＧ
<メンバー>Ｖ：ＨＩＤＥ
Ｇ：ＳＵＧＩＺＯ（ＬＵＮＡ　ＳＥＡ）
Ｂ：ＳＥＸＹ　ＲＯＳＥ　ＨＡＲＲＹ
（SIGHS OF LOVE PORTION）
Ｄｒ：ＳＨＩＮＹＡ（ＬＵＮＡ　ＳＥＡ）

④Ｌ．Ｏ．Ｘ．
・ＨＥＬＬ　ＯＲ　ＨＥＡＶＥＮ
ＢＯＲＮ　ＴＯ　ＢＥ　ＷＩＬＤ
<メンバー>Ｖ，Ｇ：ナオキ（元Ｌｉｐｃｒｅａｍ）
Ｂ：ＡＣＴ（ＯＲＡＮＧＥ）
Ｄｒ：白鳥 麗
<ゲストメンバー>
Ｇ：水上，Ｖ：Ｔ．かわばた
Ｃｈｏ：フェイマス、カチョー、根本、

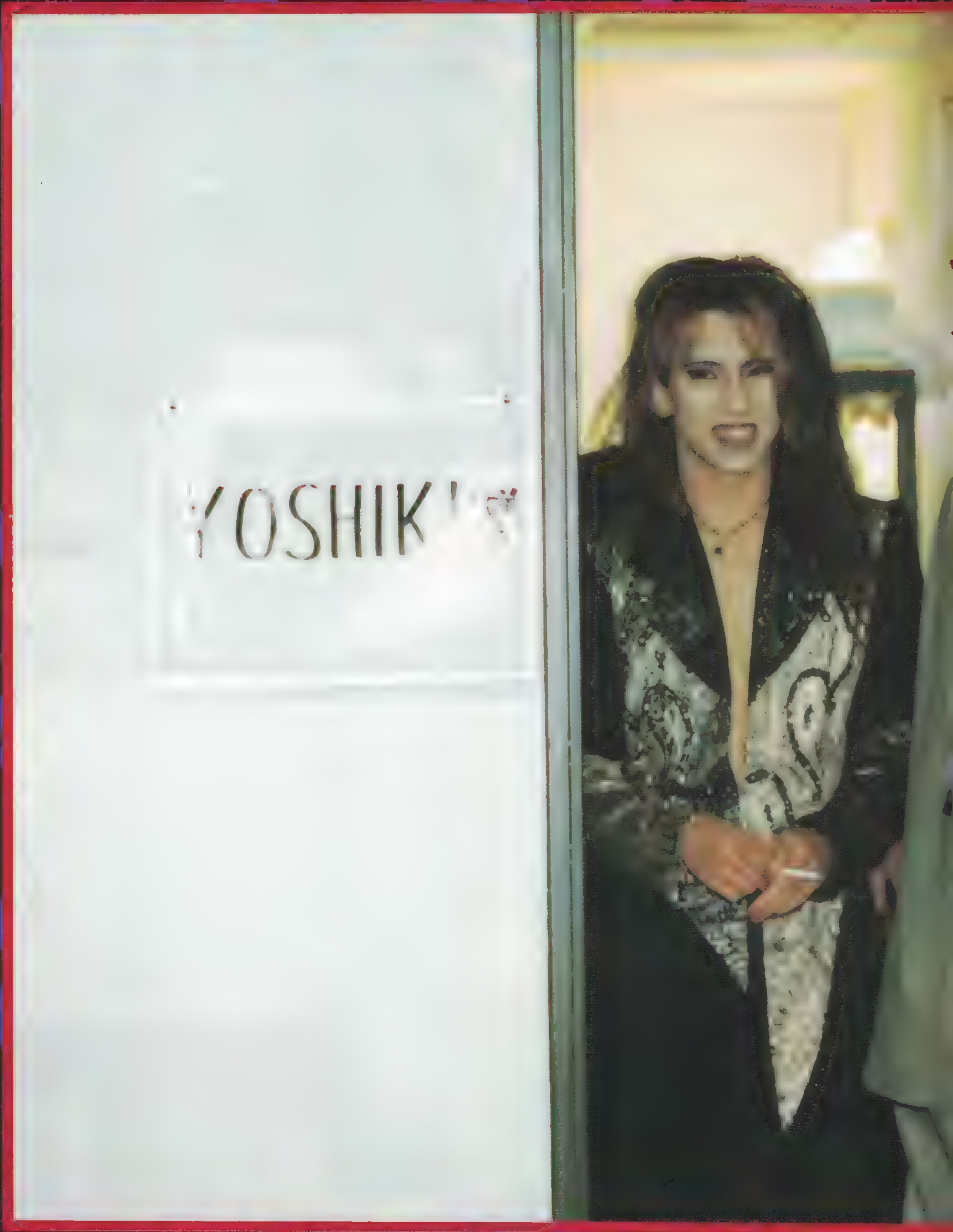
⑤無敵ＢＡＮＤ
・ＧＯＤ　ＳＡＶＥ　ＴＨＥ　ＱＵＥＥＮ
・ＡＮＡＲＣＨＹ　ＩＮ　ＴＨＥ　Ｕ．Ｋ．
<メンバー>Ｇ：ＹＯＳＨＩＫＩ、
ＨＩＤＥ、
ＴＡＩＪＩ、
ＫＥＮ（Ｚｉ：Ｋｉｌｌ）、
ＳＵＧＩＺＯ（ＬＵＮＡ　ＳＥＡ）
Ｖ：ＴＯＳＨＩ、
ＨＩＤＥ、
ＴＯＭＭＹ（ＣＯＬＯＲ）
ＨＡＲＡ（ＬＩＧＨＴ＆ＳＨＡＤＥ）
ＵＭＥ（東京ヤンキース）
ＢＡＫＩ
ハルヒコ（ＺＯＬＧＥ）
ＩＳＳＡＹ（デルジベット）
リッチー・バロン（ドラムチューナー
Ｂ：ＤＥＮ（ＢＹ－ＳＥＸＵＡＬ）
ＳＥＩＩＣＨＩ（Ｚｉ：Ｋｉｌｌ）
Ｄｒ：ＧＥＯＲＧＥ（LADIES ROOM ）
ＪＵＮ（LADIES ROOM ）





＊18, 19 日のレポートは次号で行います。

今月のよっちゃん





大阪城ホール・出番直前のようちゃん





「ＯＨ！エルくらぶ」・空き時間中のよっちゃん
テレビ朝日ロビーにて

Yoshiki in the canvas

もうもう、本当に本当にたくさんの応募ありがとう。まさにイラストの山に埋もれてしまいました。その中でのトップ賞はこれだっ！YOSHIKI 本人も「これ、持って帰りたい」と言っておりました。…みなさんそれぞれ違うタッチで、美しいですね…。



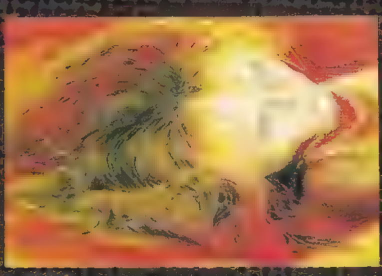
No. 21320／兵庫県・矢野陽子さん



No. 5144／石川県・水口錦枝さん



No. 24764／秋田県・熊谷裕子さん



No. 16225／福岡県・末永良子さん



No. 6930／埼玉県・渋沢由樹子さん

松本氏・今月の1枚



Hello!俺達は今、曜日をPOWER STATION の初日を控え…みーんな大パニックさ。
それぞれに勝手なメンバーで勝手なプログラムを“やる”って事で、誰がどこで何やるってごっちゃごっちゃになっててね。まあPOWER STATIONって事で、観たくても観れなかった人沢山居るだろうけど、そーゆー人にはごめんなさい…と。…
POWER STATION については…まだやってないので、どーなるか分らんなー。
3日間終わったら、反省なり、弁解なり、謝罪なりするからさ…。
あーあ、TOURも地方は“ほとんど”終わっちゃったしさ。“TOUR中は元気過ぎてSTAFF は迷惑”な俺は、けっこうつまんないな。全国隅々行けた訳じゃないしさ。
でもね、雑誌とかでも言ってるけど、今年のXはまだまだ色々あるからさっ!!
“ひょん”な所で皆にゃ会うかもね。フフフ。あたしゃ楽しみだわな。

最近も色んな人来日してるよねー。いいんだよ、俺、全然観てねーよ。
あーあ、DAMNEDも観れなかったしねー。FEC のMOROKUMAは行ったんだってよ。
てめー、お土産はどーした？LIMBO MANIACS も観てない、なーんも観てない。FXXK!!
日本の人達は時々観に行ってんだけどな…。ＬＵＮＡ ＳＥＡの青年館ね…すげー台風の日だったなあ…、よかったよー、みんな。地方とか近くに来たら観た方がいいよぉ。
あとは、ＶＩＲＵＳ AT 鹿鳴館ね。
いやぁ、久しぶりでメンバーも代わっちゃったで「どんなかな？」と思ったら…私は2曲しか観てないけど…これもえらいよかったなぁ。皆さん是非御賞味を。
今月はＣＤもあんまし買ってないけど…私のいつも持ち歩いてる数枚！！
Prettyhate Machine/Nine Inch Nails（アメリカでMTV で観て好きになったんだよなぁ…打ち込み）
THELANDOFRAPE and Honey/Ministry（Power Station の１日目のバンドでSEに使ったよーん）
Stinky Grooves/Limbo Maniacs（White Funkですかね＋ＲＯＣＫのワイルドさ…ですか？Red Hot 系ですかね…もう少しFunk寄りだけど）
Live and Rare/Jane's Addiction（なーんにも言うな!!それだけでいいんだ!!曲順がムチャクチャだって…解散がどーだって…なーんにも言うな、俺のもんだ。なーんにも…）
前のこのコーナーで「家に押しかけるファン」の事書いたけど…たーくさん手紙もらってさ。…心配してくれる人…「住所売りつけたんで、HIDEの替わりに“かまして“やりました」っていう人…その位がまんしろ、という人…この人は御一人でしたがね…まぁ、おかげさんで少しは良くなったかな…と思うんだけど…心有る方々にはありがとう、と…。
言ってもわかんねー方は…“拳“が話聞いてくれるってよ…。
俺達さぁ、別に大上段に立って物言ってる訳じゃねぇからさ。最低人間個人として生活したいだけよ。Tour中も警備厳しいけど、そーゆー時は俺達、別にPanic にならない限りはみんなと会いたいし、話したってかまわねーしさ…何様じゃねぇんだからさ。公共の場ではなかなか難しいもんがあるけどね。他の関係無い人達もいるしさ。（俺が常識的な話ばっかしてんのもへんだし、説得力ねーかもしんないねぇ）
Liveの時はさ、俺達と君達だけの“もの“じゃん？あの空間って…。とは言っても過剰の警備って有るしさ。そーゆー人ばっかりじゃないと思うけど。俺も昔、コンサート行ってよく警備員になぐられたり、つまみ出されたり…よくケガしたもんなぁ…。何の為の警備だよ？とかよく思ったもん。今回のTOURで、カーテンコールで俺の投げたタオル…もう手に持ってるのを強引に引きずり出そうとしてるのを目の前でやられて、ステージから飛び降りて…後はよく覚えてないんだけど…。取り合いになって混乱するからっていう理由だろうけど、最低あの時はそんな事無い事を俺は見てたからね。頭っきちゃってさぁ…。
スタンド席にいた人は「何だ？」と思ったでしょうね…。
難しいよね。本当は、みんなの秩序にまかせられて、その中で暴れられたらいいんだけどさ。AMERICA でJ・ADDICTION のコンサート見てですごく感じたけど。結構危なそーだけど、暗黙の秩序があるんだよねぇ…。だけどパッと見には大暴れ、みたいなさっ。
まぁ、それはムリな話だろーなー。俺達もLIVEでは「暴れろ」とか言ってるわけだしさ。
難しいよね…。でも、今のコンサート警備の中で、最大限自分のスペースの中で「やる」っていうやり方はあると思うよ…。
…がんばろうね、みんな。
基本的に楽しむ為の俺と君らの空間だからさっ…。
という訳で…最近、説教くさいかなぁ…俺。
そんな“たま“じゃないんだけどねぇ…。

Bye!! See Ya!!



復活! PATA & TOSHIの居酒屋日記



今回の居酒屋日記はＰＡＴＡと東京ＹＡＮＫＥＥＳのＮＯＲＩちゃんでやろうと決めていました････が、ちょうどその日、ＴＯＳＨＩのラジオの収録に東京ＹＡＮＫＥＥＳが入っていて結局、居酒屋日記はＰＡＴＡ・ＴＯＳＨＩ、東京ＹＡＮＫＥＥＳのＮＯＲＩちゃん、ＵＭＥちゃん、ＡＭＩちゃんの５人になりました。

PATA/P　TOSHI/T　NORI/N　AMI/A　UME/U　GOTO/G　FC/F



Ｔ：では、お疲れ様でしたぁ。

：おつかれさま～っス。

Ｔ：じゃ、早く仕事しちゃおっか。

Ａ：何？そんなに早くかえりたいの？

Ｔ：ちがうよ、早く話ちゃわないとさ、酔っ払うと何しゃべっちゃうか分かんないんだもん。

Ｆ：とりあえず、先に写真撮った方が････。

：そうだね。（と何枚か撮りましたが）

Ｔ：オレ、腹減ってんだよ。

――――　おつまみをものすごい勢いで頼むみんな。食べ物がくると、みんな食うだけ食って会話にならず、どうしようとモドモドしてしまうFCの私達。――――

Ｆ：では････ＰＡＴＡの居酒屋日記というコーナーなので、最近あったことでも････。

U,N:なんもねェ。

Ｆ：････････････。

Ｐ：そんなの、勝手にしゃべらせとけば話になんだろ。

Ａ：東京ＹＡＮＫＥＥＳに食い物あたえると、おとなしくなるっス。

Ｔ：おっ、きたきた。これはカンパチか？

Ａ：ハマチの名前変わったのがカンパチでしょ？

：あれ、そうなの？

Ａ：そうだよ、ハマチの出世魚だよね。

Ｕ：カンパチ、ハマチ、ブリじゃねえか？

Ｔ：うそ、ブリになるんだ。ハマチって結構でかいじゃん。それより、でっかくなるんだ。おまえら、みんな魚に詳しいんだなぁ。

Ｕ：うん、オレらみんな釣りすっから。

Ｆ：えっ、どこで？

Ｎ：どこでって、魚にいるところに決まってんべ！

Ｔ：（笑）そーだ。魚のいるところだよなぁ。

Ａ：だってオレらの機材車の中、釣竿とか入ってんだよ。

――――　またもや食べ物がきてしまって、食べる事に専念してしまうみんなでした　――――

Ｔ：しめサバの子供って知ってる？

Ｐ：しめサバの子供って･･････。

Ｔ：サバの子だよ、サバ！

：（大笑い）

Ａ：オレ、川で泳がせたら天下逸品よ。

Ｔ：ウソッ。

Ａ：まじまじ。だって、ボウイスカウトの時、滝壺潜りの名人だったもん。

Ｆ：え～、ＡＭＩちゃんボウイスカウトにいたの？

Ａ：うん。自分よりでかい石持って「せーの」で潜るんだよ、滝壺に。

Ｆ：何の為に。

A：根性試し。先輩にやれって言われて「ハイ」ってやるの。ボウイスカウトっていってもサ、キャンプとかそういう類の催し物にのみ参加する人ね、オレの場合。
：笑
T：だんだんお腹いっぱいになってきた。
U：でもさぁ、これあれだよね（何がだよ）。こんだけ食いながらやってっから、テープにクチャクチャ入ってて、テープおこすとき、きっと不愉快だよな。
P：これ、ステレオで録れてんだろ。両方からクチャクチャクチャクチャしてんだぜ。
A：こっちからもクチャクチャ。
（F：ホント、人の話声に後ろにクチャクチャ入ってて・・・・・みんなどうもありがとうって感じ）
T：AMIちゃん今、髪の毛自分で立ててんの？
A：うん、途中まで。しあげはやっぱ先生（NORIちゃん）に。
N：オレすげぇ早いんだよ、今。
U：でもオレみてぇに（髪が）少ねぇと、やっぱ苦労するみたいよ。
N：最近、自分の髪が少ねぇからうまく立たねぇんだよ。
U：立てるたんびに自己嫌悪に陥ってんだよ。
A：あぜ道ですね。
P：あ〜。（笑）
A：最近NORIちゃんの頭、ドナドナが子牛を乗せてあぜ道を走って・・・・。
：大笑い。
N：おめぇ、そんな事言ってイイと思ってんのかよぉ。
T：何？ドナドナって・・・・。
A：♪ドナドナドーナってあんじゃない、歌。
T：あるよ。
A：それ。
：笑
T：ドナドナってどうゆうこと？何か意味あんじゃないの？
F：何語かなぁ？
P：ロシア語じゃない？
U：さすが！L・A帰りは違うなぁ。
T：ホントだよ。
P：別にL・A帰りは関係ねぇんじゃねぇか？
T：Come back toL・A.
A：えっ？
：笑
U：今さ、おろしたら前髪どれくらいあんの？
T：あるよ。
P：どっからどこまでを前髪というかが問題だな。
U：うん、ちなみにオレなんかはもう前髪ないよ。
T：大丈夫だよ。
（誰だぁ、テープの前でげっぷしたヤツは！）
T：髪の話はもうやめようよ。
U：治んないよ背中。ボーカリストは湿疹になるもんなのかなぁ。
T：なるなる。（笑）
U：マジ〜。（笑）師匠だなぁ。
P：何でなるんだぁ。
T：そういう職業なんだもん。
P：（笑）湿疹になる職業なのか。
A：職業病ですか？（笑）
T：多いんだよっ。あの、電気ノコギリ持ってる人がハクロウ病になる様に・・・・。
A：オレ？
T：あれ？おまえ何だっけ？
A：オレはハツリ機。タタタタタタッ・・・・てやつ。
T：あれさぁ、凄くない？振動が。
A：うん。凄いよ。そんで何だっけ。
T：湿疹、かぶれ。（笑）
P：みんな湿疹、かぶれなのか？じゃぁ、MORRYsanも湿疹、かぶれあんのか？
T：あるよ（笑）。カリスマと呼ばれるボーカリストはみんなあるよ。
U：じゃ、オレらもカリスマだったのか。
N,A:おぉーっ！すげぇ。
：一同拍手
A：そうすると、女性ボーカルの方もやっぱり湿疹になったりするんですかねぇ。
T：勿論っ！
A：誰あたりですかねぇ。
T：いやぁ、言えねぇな。（笑）
——— と、ここからだんだんシモネタになってしまいピーッ状態になってしまい省略 ———
A：いやぁ、記事になりませんなぁ。
：大笑い。
T：何か記事になる話をしなきゃ。
G：PATAの話をしないと。（笑）
——— と言ったのもつかの間、またもやシモネタへといってしまいました。だいぶ時間がたってから ———
A：SIGE（今日一緒に来ているYANKEESのローディー）、おまえもしかして紅白借り出されんじゃねえの？野鳥の会で。
：えっ？野鳥の会に入ってんの？
T：何？野鳥の会ってどうやって入んの？
A：ほーら、盛り上がった！（笑）
S：入会金を振り込んで。
：えっ？入会金払うの？
S：そんで、毎週日曜日に。
P：毎週日曜日に鳥の数、数えるの？
S：山とか行って「鷹がいました」とか・・・・・・。
：（笑）エーッ。
A：オレらがツアー行ったりして「SIGEあれは何だ」って言うと「なんたらかんたら鷹」とかでさ、鷹じゃないんだよ。「じゃぁ、あれは？」「おおるり」っみたいなさぁ。ぜんぜん分からんねぇんだよ。（笑）
N：昨日もオレ久しぶりに見ちゃったんだけどさ、こいつが持ってたテレフォンカードがさぁ、やっぱり山の鳥でさ。オレが「ヤマゲラだろ」とか言ったらさ「アカゲラ」だったんだよ。（笑）
T：鳥に興味があるんだぁ。
A：だからね、オレとかUMEがバカにすると真剣に口きいてくんなくなっちゃうの。「そういやぁ、オレの知り合いでカモをパーンッて打ってさ、池にプカ〜と浮いてきた」って話をしたらさ、もう怒っちゃうよ。（笑）
T：鳥を愛してるんだねェ。
A：会報の名前しってる？言ってやって。
S：バードウォッチング
：おぉ〜っ。
P：まさに、その通りだね。
T：野鳥の会の人がまさかロックの中にいるとはねぇ。
A：しかもYANKEES！
——— 昔のツアーの話になって ———
U：そういやぁ、大阪でさぁPATAが警察に捕まった時はびっくりしたなぁ。
：大笑い。
P：オレが飲んでてボ〜っと歩いてる時にうちの誰かが飲み屋の前に止まってた車を蹴飛ばしたんだよな？
U：車の持ち主が出てきちゃって、みんなでダーッて走って逃げたんだよ。
T：そんで、PATAは何が起こったのか知らなかったから「うぃ〜」とか言って歩いてたんだよ。
P：そうなんだよ。オレが歩いてて前が走ったなぁと思ったら、飲み屋のオヤジが出てきてオレのことはがいじめにしてさぁ、何だ何だ？と思って「なぁ〜に〜」とか言ってたらさぁ。
T：（笑）はがいじめにされてまで「なぁ〜に〜」って。
：大笑い。
P：そんでさぁ、そのうち警察がきてさ、取り調べ室まで連れていかれたんだよ。
U：オレらが戻ってから警察がきてさぁ、NORIちゃんと警察まで行ったんだよ。そしたら、PATAが座っててさ（笑）。もう大笑いだったよなぁ。
P：結構、楽しかったよ。オレ飲み屋で待ってて、その時にちょうどパトカーが来てて、乗せられて行って。
T：あっ、パトカーに乗ったんだ。
P：オレ、訳分かってねぇじゃん。だから「あぁ、そうっスか」って乗ってったんだよ。
：大笑い。
G：その前に飲み屋で金払うから酒のませろって言ったんでしょ？（笑）
P：暇だったんだよ。誰と話するでもなく、それでできる事っつったら飲み屋だから飲む事しかないじゃん。で、むこうも一瞬考えて「でもダメだね」って飲ましてくれねぇんだよ。そのうちパトカーが来たんだよ。
——— とまぁ、話があっちゃこっちゃいってるところで、「お時間の方があと少しですので・・・・」とお店の人が来たのでそろそろまとめに ———
T：じゃぁ、まとめよう。PATAに対する一言でも。
P：変な事言ったらぶっ飛ばすぞ。
A：まぁ、PATAちゃんはいつまでたっても動じない人でいてほしいですね。
P：すいませんね。っということで、宴たけなわではございますが、こんなトコでしめたいと思います。
：一同拍手！

東京YANNKEES ライブスケジュール

11／10 大宮フリークス
／21 名古屋フレックスホール
／30 日本青年館（イベント）
12／17 大阪ロケッツ
／19 大分トップス
／20 博多Be−1
／22 千葉LOOK



TOSHIの一言

誕生日のプレゼントを送ってくれたみんなどうもありがとう。この場を借りてお礼を言いたいと思います。
それから雑誌の件、すべてが真実じゃないにしてもオレの心にも透きがありました。この場を借りてみんなに謝りたいと思います。ごめんなさい。

前回告知したTOSHIのコーナー「グルメでドン！」は、都合の上お休みさせていただきます。

TAIJIインタビュー

ＴＡＩＪＩのコーナー決定！

出来た、出来た、ＴＡＩちゃんのコーナーが出来た…っと喜んでいました。内容は、「コンサートレポート」。正式なコーナー名はまだ決まっていませんが、お気に入りのアーチストのコンサートにＴＡＩちゃんが出向いていって、レポートしてくれる…というもので、行くアーチストも決まっていたのですが…ああっ。なんと、そのアーチストの来日が中止になってしまったのでした。がっくりと肩を落とすＴＡＩちゃんに、今回は急拠インタビューという形でコーナーは保留という事にしました…が！次回は必ず敢行します！！

ＦＣ（以下／Ｆ）：では…今回は残念でした。

ＴＡＩＪＩ（以下／Ｔ）：CHECK,ONE,TWO,…。（レコーダーのマイクチェックをしている）

Ｆ：あの…（笑）。

Ｔ：ハイ、どうぞ。

Ｆ：ツアーも終盤になってみて、どうですか？

Ｔ：新潟って最初のライブだよね。あ…仙台か。でも、コンサート形式では新潟だよね。…まぁ、徐々に掴んで来たかなってカンジだね。…最初はやっぱり手こずったよ。お客さんがおとなしかったりさ。感覚を戻すのに苦労した。…ま、今は余裕ですよ。と言っておきましょう（笑）。

Ｆ：凄くファン層が広くなってる様に思えたんですよ。

Ｔ：あ、そう？

Ｆ：年配の方とかもいらしてたり。

Ｔ：へぇぇー、本当に。（ニッコリ）

Ｆ：これから横浜アリーナへのイキゴミを一つ。（イキゴミが好きなファンクラブ）



Ｔ：そりゃぁ、もう、相変わらずだよ。もう、気の向くまま、なすがまま、だよ。…変わらねーよ、どこ行っても。

Ｆ：そうですね。…話は変わって、最近、友達のライブに行ったり、友達と飲みにいったりしてますか？

Ｔ：ライブは…行ってねぇなぁ。あ、でも飲みには行ってるよ。悪い友達はいっぱいいるからさ（笑）。こいつもそうだ、こいつもだ、ってさ。おまえだよ、おまえ！（笑）顔が整ってる、おまえだぁ！ギターは上手いぞ。

Ｆ：TATSU さん（JACKS'N'JOKER.）ですか？

Ｔ：そうそう。カッコイイよな。この間ライブ行けなくてさ…ごめんなさい。（と呼び掛けるTAIJI）

Ｆ：他に外タレなどでライブが見たいアーチストなんていますか？

Ｔ：JANE'S ADDICTION、見たいねぇ。（HIDEの影響でしょうか？）あと…ALICE IN CHAINS とか。カッコイイよ。あ、最近気に入って聞いてるのはね、MONTROSE。最初の方のね。最近のはダサイんだよ。昔の方がイイな。

Ｆ：GUNS'N'ROSESの新譜とかは？

Ｔ：あ、イイねぇ。最初良くワカんねーな、とか思ったんだけど、…聞くたびに良くなっていくんだよな。…でもベースは…なんかちょっとがっかりしたよ。結構適当っぽくて、粗いんだよ。演奏が。フレーズとかにも工夫がなくてさ。単に粗いだけになっちゃってんだよ。…まぁ、それでもカッコイイけどな、GUNSは。

Ｆ：そうですね。

Ｔ：あ、この間ＴＶでのライブ…「下郎」、見た？

Ｆ：あ、ハイ！（＊「下郎」とは、泉谷しげるがボーカルをとるユニット。）

Ｔ：カッコよかったよなー。LIVE行きてえな。

Ｆ：じゃ、最近音楽以外で好きな事は？

Ｔ：いろんなヤツと酒飲んで楽しむ事だな。

Ｆ：悪友が多いとさっきも言ってましたもんね（笑）。それから、ＦＡＮの子からの要望で多いんですけどTAIJI さんの女性観を聞いて欲しいっていう事なんですよ（笑）。

Ｔ：エー（笑）。そうだなぁ…女性らしさを失わない、頭の良い人だな。というか、良く気が付くっていう事だね。人に丁度良く気の使える…自然な人がイイね。性格は大事だよ。

Ｆ：ナルホド。緊急インタビューという事で、忙しい中駆け足で取材させて頂いて、スミマセンでしたっ。ファンのみんなにTAIJI さんから一言！

Ｔ：みんな、愛してるよっ！

FAN'S ROOM

今回はお便りが凄く多かったんですよぅ。ツアーのレポートや、（みんなFC特派員だねっ）リクエスト大会の報告、そして一番多かった…前回の会報でHIDEがふれていた、自宅へ押しかけるファンについての事…、無視すべきではないと思い、抜粋して掲載させて頂きました。メンバーが私達を愛してくれている様に、私達もXを、メンバーを、愛していきたいよね。…

Violence In Jealousy Tourで
もらった エックスふうせんが しぼんで
しまいました。
なぜか 涙がでてきました。

No, 22889 横山 恵子
FC：そうか、そうか、よしよし。



たたずむ編集長
No.25770／栃木県・あやちん

◇Xを愛してるなら迷惑をかける様な事はやめようよ。私なんかの手紙で気が変わってくれる人がいるかどうかわかんないけど、もし1人でもそういう人がいたら、すごく嬉しい。ちょっとでもメンバーの役にたてた事になるもん。Xにはいっぱい良い物をもらってるじゃん。そしたら私は倍にしてXに良い事をしたいもん。好きだからコンサート以外の彼らに会いたいという気持ちは分るけど、私達に会う為に彼等はコンサートとかをしてくれているんだし…。メンバーはこんな事をされてもFANの事を悪く言ってないのに。

（名無しさん）

◇X-PRESS 8号を読んで私はキレてしまいました。私は大阪に住んでるケド、そーやって家に押しかける人って東京方面の子が多いんじゃない？少しでもメンバーが近くに住んでりゃ、それだけですっごく幸せな事だと思えるはずなんじゃないですか。本当のファンならそれくらい常識なんちゃう？街中でバッタリ会えるかもしれんやん。あんたらよりもっと遠くに住んでる子は、LIVEでしか会われへん子だっておるやん。メンバーの気持ち少しでもわかりたいなら、メンバーの事好きなら、もっと考えて行動しろよなっ。（大阪のみかさん）

◇ふざけんなよっつう感じです…やっぱメンバーを愛している限り耐えなくちゃいけん事ある。住所買うなよ、絶対に。知ってたらいっちゃうだろ。いきゃあ会いたくなる。HIDEが言ってる様に、売ってる奴らが一番許せん。（No.4557/ジオラマさん）

◇雑誌で読みました。「もう帰る家も無い」って。それでもYOSHIKI さんはファンの事考えてくれてて…。私もXのファンだし、東京とかに住んでたらやってたかもしんない…。でも、メンバーやその近所に住んでる人の事考えるとやっぱり出来ない事なんだってつくづく思う。私達の為に夜遅くまで仕事してくれてたり、それだけでいいよ。もうYOSHIKI さんをホテルに泊めたくない。自分の家でゆっくり寝て欲しいよ。首の痛みも治して欲しいよ…。こんな事書いて、ナマイキだって言われるのはしょうがない事だけど、本当の事書いただけだから。

（No.5235/ｙｕｋｏさん）

◇「JealousiX 」に入れたり見れたりしただけでも満足して、東京に2日間泊まった。ここの街のどこかにXが居るんだぁーって、そう思ったら帰りたくないよぉって思っちゃった。単に田舎者なんだよっ！って言われたらおしまいだけど、やっぱ少しでもXの近くに居たいって思うもんね、場所的にさぁ　自宅の住所知ってるだけでも充分だと思うよ。知ってても行けない子や、全く知らない子だって居るんだよ。Xを好きな子何万人と居るんだもん。みんながみんなそうしているわけじゃないんだけど、やっぱり「FANの子」って言われると、何人かの人の為に何万人の「FANの子」も犠牲になってると思うんです。これじゃぁ、駄目だよぉーって思ってるのは私だけでしょうか…。（No.5952/あらちゃん）

◇名前は出せないけど、おっかけしてる子が実は友達に居るんです、恥ずかしい事に…。悲しいです。HIDEも書いてたし、何回か「やめた方がいいよ」と言ったけど、聞いてくれなかった。その他にも「解散するらしいよ」とか、とても書きたくない様なプライベートの事を本当の様に言いふらしたり…。ファンクラブにもTELして「本当なんですか？」って聞いた時、やっぱり余りにもヒドイ噂だったのでお姉さんが少しムッとしていたのが分りました（FC注：ゴメンネ…）。でもウソだと知ってホッとした。気持ち分らないわけじゃない。だって、Xを通じて仲良くなった子だし、凄く彼等を好きな事も知ってる。何回も一緒にLIVE行ったり、一緒にビデオ見たり…。でもね、自宅とかに一緒に行こうよって誘われても私は行けない。だって怖いもん。メンバーに嫌われるの怖いもん。イイ子ぶってると言われようと私は嫌われるよりは、別の所で力になってあげたい。（LIVEとか…でね）それでいいと思う。私だってYOSHIKI が好きだよ。会いたい。話したい。LIVE会場の中の一人じゃなくて、存在を知って欲しい。プライベートのYOSHIKI が知りたい。どんな服着て、どんな生活してるのか、知りたいよ。でも、そう思ってるのは私だけじゃない。みんなと会ってたら、YOSHIKI 、曲作る時間なくなっちゃう。寝る時間なくなっちゃう。死んじゃうよ…。YOSHIKI はそんな自宅へ押しかける様なファンの子達の事さえも悪く言わないのを雑誌で知って、さすがに涙が止まりませんでした。私は地方の方達と違って行こうと思えば行ける所に住んでるけど、行けないものは行けない。友達にもはっきり言いたい。やめさせたい。YOSHIKI 始め、他のメンバーにも自宅でちゃんと生活して、休んで、イイ曲たくさん作って欲しい。…
私からメンバーのみなさんや、迷惑をかけている方々にあやまります。ごめんなさい…本当にごめんなさい。…最後に一言いわせて。自宅に行く様なファンの子より、私の方がYOSHIKI の事をもっと好きなんだと思ってます… 間違ってますか？…（東京都・ROSEさん）

◆あっという間に凄い数の反響のお便り、ありがとう。Xというバンドは、どこよりもファンを愛しているバンドである筈だと、それだけ、私の方から言わせて欲しいです。ROSEさん、びんせん数十枚に渡るお便り、本当にありがとう。

1＊Xのリクエストしたら、5千円分の音楽ギフト券があたったよ。（No.26399/ かいじゅうひでごん）
2＊「おはようナイスデイ」で「Es Durのピアノ線」を良く聴きます。（No.10721/ ダイリーちづるさん）
3＊今度9/15の大阪城ホールのライブに行ける事になりました。大分からフェリーに乗って13時間…。乗物酔いが激しい私ですが、根性で頑張ります。

（No.29625/ 河野孝子さん）

4＊どうしてファンクラブにTELがつながらないの？反狂乱状態で「フック」と「再生」を押しまくる私っていったいー（No.25708／麗・じみいさん）
FC→ごめん、ごめんってばぁ（笑）。早く回線が増やせる所に移りたい…。
5＊札幌そごうの3Fの婦人服売場で「DESPERATE ANGEL」が流れていましたヨ。FC会員の人がリクエストしたのかなぁ。（No.25075／YOKOさん）
6＊中3で受験生なので、よくストレスがたまります。そんな時は「オルガスム」を聞くのが一番良いです。
（No．29905／岐阜県・後藤優子さん）
FC→わかる、わかる。私もムカつく事があると大音量でかける（笑）。
7＊8月にテレビで放送された「全国高等学校クイズ選手権」で、「ボーカルはTOSHI 、ドラムはYOSHIKI 、ニューアルバム「ジェラシー」をリリースしたロックバンドは？」という問題が出た。私は「Xっ！」と力一杯叫んだのはいうまでもない。問題になるなんてさすがXだぜぇ！（No.23664／兵庫県・辻本治美さん）
8＊HIDEさん、大変、大変！知ってますか？あのJane's Addictionが解散しちゃうんですって！アメリカに留学しているいとこが教えてくれたのですが。Tシャツ買い込んでおいて良かったですね…。

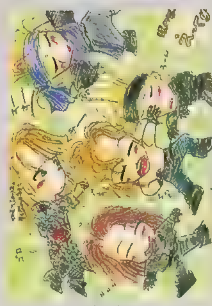
（No.23690／千葉県・山片雅美さん）

9＊ANTHRAX というバンドを御存知ですか？彼らの「I'M THE MAN 」という曲のある部分が（英語なんだけど）「パタさんがとおるよー」としか聞こえない！何度も聞いて一人で笑ってしまったのでした。

（No.16647／掛川照美さん）

10＊私の住んでいる所のラジオ局の番組でXは初登場5位でした。今までこの番組のランキングの特徴は「少しづつ上げていく」というパターンだったんですけど、なぜかXはいきなり5位だったんです。もっとこの番組でXを1位にしちゃいたいので、ドンドンハガキを送ろうっ！
〒880 宮崎市祇園2-78　FM宮崎
トワイライトステーション
と書いた場合、ポイントが2倍になるのでよろしく。1人一枚なのでPNを変えるなり、友達に協力してもらうなり…ね？（No.17216／HIROMIさん）
◆その他にも「この番組でぜひXを1位にしたい！」というのがあったら教えて下さい！

似顔絵コーナー



No.21172／杉山教子さん



新潟県・No．9975さん



No.22320／田沢理江さん



No 28356／東京都・鉛蛇亜也子さん



No.19511／三好季枝さん



No 17491／長野県・半田美紗さん



No.20865／千葉県・長谷川麻美さん

「もっともっとPATAさんを見せてねー!」



No.15200／Norikoさん



No.24295／山形県・後藤千恵さん



No.10041／橋本ゆかりさん



No.30084／福岡県・大都久美子さん

ごめんね…(笑)。ちゃんと送ったからね。届いてる?



No.22226／小山内美保子さん



No.18515／岡山県・MARIKOさん

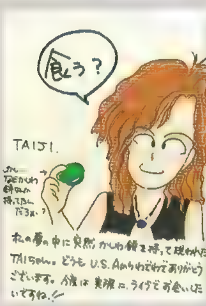


No.25704／北海道・関口直美さん

この明るそうな顔がいいね。



No.10012／臼井純江さん



No.2720/福岡県・宇都宮郁子さん

かわいいっ。夢っていつも意味不明な事あるよね。



No.20141／兵庫県・BLACKさん

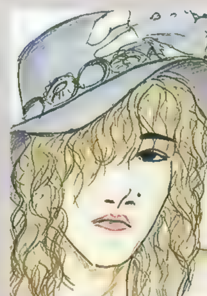


No 22023／森 真美さん

本当にこの眠りらしいですよ(笑)。



No.28531／埼玉県・小野玲香さん



No.22886／岐阜県・田松奈歩さん



No.6454/よしだまきさん



No.22364/ 織貝久美子さん



No.21679／徳島県・河野真知子さん

TAIJIへの■があふれております…



No.20277／福岡県・都川珠美さん

「激ぶ?」このセリフが気に入ったぜ(笑)。

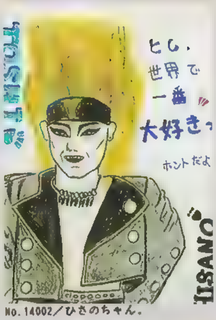


No.20561／大阪府・古林ゆみさん

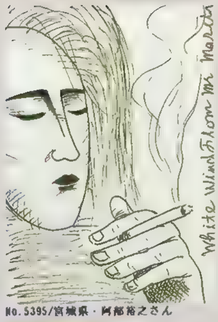
いつも素敵な絵ありがとう。



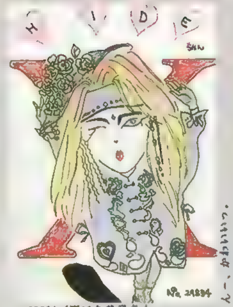
No.25669／東京都・バラは枯れても美しい。



No.14002／ひさのちゃん。



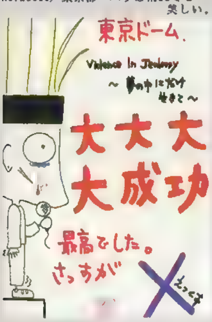
No.5395/宮城県・阿部裕之さん



No.29834／野口久美子さん



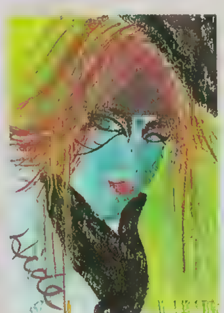
No．16066の弟さん（笑）



No.25115／香さん



No.15458／服部あかねさん


No.19127／愛知県・野村聡美さん



No.6050/東京都・原　雄三さん


No.16606／富山県・Je taimeさん

HIDEちゃん似顔絵マスク特集！！



No.19342／沖縄県・小渋美幸さん



No.7681/加藤志麻さん


No.21104／大阪府・柏原純子さん



No.25844／Ｚｅｕｓさん


No.22025／福岡県・浅原美保さん

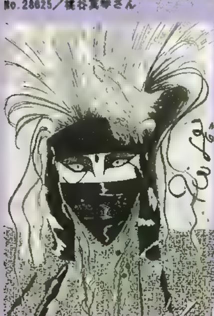

No.28625／桜谷真琴さん


No.25886／渡辺佳子さん


蜜蜂さん


No.11665／松浦利文さん


No.6750/埼玉県・板谷幸子さん


No.25574／長野県・田中まゆみさん

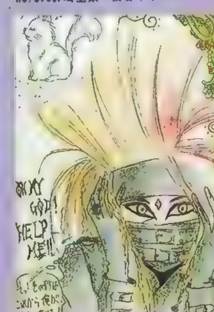


No.15473／新潟県・永田　智さん



No.20205／石巻市　田村智之さん


No 23796さん



No.8111/埼玉県・伊藤武子さん

条件気になる方も、他店ご利用の方も相談
お近くの(ヨシキ)へお気軽にお電話を
会員様増額融資中[illegible]…50万迄融資
[illegible]

〈長居店〉	〈天王寺店〉	〈京橋店〉	〈西田辺店〉	〈天満橋店〉
[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]

まごころの ㈱ よしき 大阪府知事(03)第04357号 大金協No564 株式会社善木

8/28のサンケイスポーツに載っていました。
（No.20141／ＢＬ　ＣＫさん）
“お近くの（ヨシキ）へお気軽にお電話を“っていうのがナケルなぁ。もう。本物の“YOSHIKI “の所には電話なんかしちゃダメだヨ。

今月の鏡獅子！



ＨＩＤＥが「あ．俺だ」と言って差出した物です(笑)

今月の祭り！

９月６、７日秋の祭典
「澤、よっちゃんの祭！
店内、お祭り気分でいっぱい！
料金6,000円（前売り・税込）
２部構成（交代制）第１部PM７：00～PM11：30
第２部PM12：00～AM３：30

イベント①近江恵子ショー（東芝EMI歌手）
②よっちゃん・あばれ太鼓ショー
③Mr.レディー友情出演（東京より）

◇これは金沢の某スナックの宣伝のものです。いやー、よかったら、本当に来てね！（来るわけねーだろっ（笑））（No.3130）
◆あばれ太鼓ショー！（笑）たしかに太鼓も叩くモンだけどぉ（笑）。

ファンクラブ日記

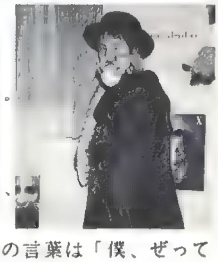
その１：電話応対にでたＦＣ担当。
「あのおー、8/23の東京ドームで失神したナガイですけど」
ＦＣ「へ？」
「ＦＣの入会金送ったんだけど、届いてますか」
ＦＣ「はぁ…」としばらくしてから大爆笑。失神した事と入会金と何の関係があるっつーの！
ＦＣ「席どこだったの？」
「３階席で、椅子に頭ぶつけて…」
ＦＣ「えー（笑）ギャハハハ」
ナガイ君、でかい声で大笑いしてゴメンね。なんだかおかしかったのヨ。また何かあったらかけてネ（笑）。

今月の駅員入門！

00　応援ＴＶ「秀ちゃん駅員１日入門」高田文夫
30　ハクション大魔王「魔法メガネでごじゃる」

◇８／２の某新聞に載っていたモノです。次の番組の「ハクション大魔王」っつーのもけっこー笑えません？
◆ＨＩＤＥちゃんったら、駅員になりたかったのかしらん。なんちゃって。それにしても、この秀ちゃんって誰の事だろう…。

今月の弟！



うちの弟は、超ウルトラスーパーミラクルひでちゃんのファンです。私がファンクラブに入った時、弟は母に「僕も入りたい…」と頼んだのですが、だめでした。その夜、弟はベッドの中で泣いて過ごした様でした。いつも私に話かける時の言葉は「僕、ぜってーひでちゃんみたくなる！」とそれだけです…。
（No.23587／東京都・上田純子さん）

Violence In Jealusy Tour 伝言板！

◇東京ドーム行ってきました。私、あやまらなければと思いましてLETTERしました。この日私は体調が悪く、LIVE中何回も倒れてしまい、私の友達と、私の席（アリーナ11ゲートA7ブロック81番です）の隣の２人の女の子、そして私の席の後ろの人々、みんなに迷惑をかけてしまい、すみません。LIVE中なのに、あおいでもらったり…私、心から感謝してますっ。（No 27884／むっちゃん）

◇東京ドームで写真くれた、白い服のお姉さん！もう１度お礼が言いたいです。私はアリーナのＤブロックにいたあなたの後ろの席の女の子です。本当にありがとうございましたっ！　（No.17104／千葉県・小池真樹さん）

◇ドームの時、１Ｆ１塁側23列目67・68のYOSHIKI &HIDEのコスプレの横浜のお姉さん、ポップコーンどうもありがとう。私70番に座ってたYOSHIKI さんFAN 。お礼言いそびれちゃって…。　（No.24909／ＥＲＩＮＡさん）

◇８／６新潟産業センターで、私の前の席で18列目12番の女の子。一緒に抱き合って泣いた事、絶対忘れないよ！「ドーム頑張ろうね」って名前も聞かずに別れちゃったけど、もう１度会いたいよぅ。
（No.21339／岐阜県・今村紀子さん）

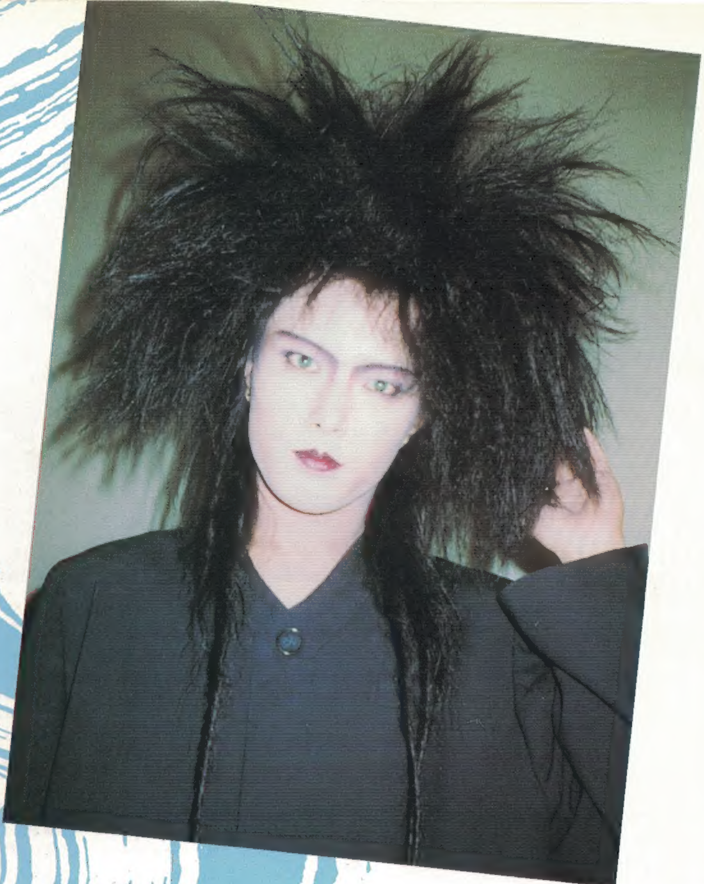
◇ドームの日、新宿駅で「JealousiX 」への行き方がわからず迷っていた私達と一緒に「JealousiX 」を探してくれた、YOSHIKI のカッコした髪のスゴク長い女の子とTAIJI ファンの大阪から来ていた高１の２人。文通したいのでお手紙下さい。ちなみに私はYOSHIKI ファンで高３，トイレで着替えると言っていた女です（笑）。
（No.19473／井上まゆみさん）

◇東京ドーム当日、コンサート終了後に会場外で不注意で落としてしまったコンタクトレンズを探して下さった方々、そして奇跡的に拾って下さった方。本当にありがとうございました。おかげ様でコンタクトには傷一つありませんでした。（らっきー！）ＸとＸのＦＡＮの方々のおかげで素敵な夜になりました。本当にありがとうございました。　（Ｍ．Ｓさん）

◇９／８の名古屋レインボーホールで２ＦのＣ１８－９に居た、たしか大垣から来てたというHIDEちゃんFAN の女の人、Ｃ１８－１１に居たTAIJI さんFAN の思い切り狂っていた私です。ウーロン茶くれたり、アンコールの時、ボロボロで涙ぐしょぐしょの私に話かけてもらえて凄く嬉しかったです。せめて名前でも聞いておけべ良かったのですが、時間が無くて…。会うことは出来ないかもしれませんが、もし、読んでいたら思い出して下さい…。　（No.25766／岐阜県・安保ともみさん）

今月のおすすめバンド

VIRUS



HIDEおすすめのバンド、今回は「ＶＩＲＵＳ（バイラス）」です。「ちゃんと取材したか？」と編集長自らチェックを入れる程でした（笑）。リハーサル中のスタジオへお邪魔して、Ｖｏ．のＨＩＲＯさんへインタビューしました。

ＦＣ（以下／Ｆ）：結成はいつ頃ですか？
ＨＩＲＯ（以下／Ｈ）：VIRUS という名前で始めたのは87年８月です。４年以上たちましたね。ただ、今のメンバーになったのは今年の４月からなんで、それまではメンバーチェンジとかしながら休んだり…。90年４月にエクスタシー（レコード）からＣＤ出しました。
Ｆ：Ｘとのつながりっていうのはどういう形で？
Ｈ：個人的には、VIRUS の前にやってたバンドっていうのが元Ｘのメンバーだった人と組んでて…ずいぶん昔ですね。17位の時かな。そのへんの関係で、YOSHIKIくんの家とか一度遊びに行った事もありました。練習してたスタジオとかもＸと一緒だったりしてて、合間に話したりはしてたんですけど、顔見知り程度だったんです。ただ今のVIRUS になって、EXTACYとのかかわりとなるとちょっと別で…精力的にVIRUS が活動し始めて、お客さんも集まる様になって。HIDEくんが何かをきっかけに見てくれて、気に入ってくれて声をかけてもらったっていう話になるんですけど。HIDEくんってshy な人っていうか、スタジオとかでも凄くムードがあって、…LIVE見に来てくれた時に、ちょっと飲みにいこーって誘われて。「カッコイイからやろうよ（エクスタシーで）」みたいな話で、とりあえずなんか嬉しくて。熱意も凄く伝わって来ましたし。
Ｆ：困った事を相談したりとかもしました？
Ｈ：そのかかわり以来、してますね。YOSHIKI くんとか…。想像でどういう人かってわかりますよね。俺から見てても、Ｘってみんなやっぱり凄い大変だったと思うんです。壁にもブチあたっただろうし、それを突き破ったからこうなったんだろうし。その中心に居た人ですから…自分も今までやってきて、何でも無い人に言ってもわかんない話ってありますよね。でも、Ｘは壁を破ってきてる人達ですから。ただ、忙しそうですからね。人気も凄いし…。
Ｆ：VIRUS というのは一言でどんなかんじのバンドだと紹介したら良いでしょう？
Ｈ：う――――ん…（考えて）俺思うんですけど…、いいバンドとか、説得力ある音楽とかLIVEとかってジャンルを越えると思うし、自分達を限定するっていうのもしたくないですから。今、いろんなものを手探りでやっている状況なんです。どんなものが出来るかなって自分達でやってみて、「わー」とか「おー」とかやってるカンジなんですよ。誰に似てるとか言われない、逆に言えば「あれってVIRUS みたいだね」って言われる位のバンドになりたいです。あきらめないで、こだわって、チャレンジしていきたいです。
Ｆ：音的にも、一言で言うのは難しいというカンジですね？
Ｈ：昔ＣＤ出した頃までスラッシュメタルっていうか、テンポの速いね…ああゆう曲中心でやってたんですよ。今は全然違いますね。個人的にボーカルという事で言えば、以前は自分が聞いてた外人のアーチスト目指して…グラハム・ボネットっていうボーカリストがいて、あの人みたいな声になりたくてね…自分の事は考えずに、近づく事ばかり考えてました。今は自分を見る様にしてます。もともとどういう物を持っていて、その範囲でなるべく楽に気持ち良くなれる事は何だろう、って考えて。それだけじゃなくて、可能性と、それに今足りないのは何だろうって考えて…。
Ｆ：それが個人的なものとすると、バンドという物に対してはどう考えますか？
Ｈ：以前は、バンドやりたい、こうなりたいっていうのが先で、ステージに立ってお客さんが喜べばいいっていうのが正直いってありました。でもだんだん、自分達でワケわかんなくなっていって。自分が何者かもわかんない位…。音楽もだんだんおもしろくなくなってきちゃって。それで、２～３ケ月休んで、家でボーっとしてたんですよ。それで、いろいろ考えている内に、やっぱりバンドやりたいなぁ…って気になってきまして。その時、偶然にも今のメンバーと ―――― メンバー探す時に、イイ音楽を作れるとか、プレイがいいとか…そんな事よりも、「人間」ですよね。まぁ、ステージに出て、ＣＤ作って、何も無い所から音楽を作って人前でやって…っていう作業の力と、ただ仲が良いっていうのとは別なんですよね。ホントはね。それなら、両方有るメンバーっていうのが理想的ですよね。イイ音楽が作れて、人間的にもかみ合う。今はベストです。問題は全く無い訳じゃないですけど、たいした事ないですよ。言葉では言えないけれど、何かあって…つながろうとする力がね。何かあっても、乗り越えようとする力があるから。――――
それでいうとＸって、バランスがいいっていうか…一人一人いろんな事知ってて、キャラクターもバラバラなんだけど、うまくそれがバンドに貢献できてるというか…個人のレベルが高くて、あれだけのメンツってなかなか揃わないでしょうね。ここに来る時も来るまで「Jealousy」聞いてきたんですけど ―――― オレ、中学生位だったら、もう、ホント好きで、こずかいいっぱい使っちゃうでしょうね（笑）。人気のあるバンドとかでも、友達とか身近な人だったりすると、案外冷静だったりするもんなんですよ。でも、Ｘは違う。自分もバンドやってる立場ですけど、Ｘはスゴイ。去年、武道館に行ったんですけど、関係者の席だったからそれっぽい人ばっかりで割と静かなんですよ。だけど、俺と、その頃ベースだった奴と２人で超デカイ声で騒いでて（笑）。もうホント凄くて、知ってる人達がやってるとは思えないっていうか…。ドームに行った時も「スゲーなー」って思ったし。ステージ見れば見たでファンになっちゃうし、普段会っても魅力のある人達ですよね。
Ｆ：これからVIRUS としてはどんな活動をしていきたいですか？
Ｈ：基本は自分達の気持ちで、楽しめなきゃなっていうのがありますね。いろんな人に知ってもらって、受け入れてもらいたいっていうのもあるけど、それが最初に来る訳じゃないです。気持ち大前提で、それを音にしていくべきだとも思うし ―― 曲をライブないしＣＤにするのは人目にふれるのを許可してるっていう事で、納得して出してるっていう事ですから ―――― すべてはインタビューとかではわからないし、結果出たものでみなさんに判断してもらうしかないですね…。「こういう事なんだな」って。――――――

とても真面目で、しっかりと考えを持っている人だな、という印象を受けました。他のメンバーの方達も、礼儀正しいきっちりとした方ばかりでした。リハーサル中なのに心良くインタビューに応じて頂いて、ありがとうございました。みんな、要チェックですよ。

◆LIVE SCHEDULE◆
１１月１２日／新宿ロフト
（この後、北海道、新潟、九州、関西…といったツアーも予定されているそうです）
問い合わせ／エクスタシーレコード
０３－３９５８－３３５９

運命共同体

KEYBOARD 小森茂生さん





『GOOD−BYE GERALDINE』
K．INOJO／小森茂生
10／21 パラノイズレーベルより発売

今回の運命共同体は、VIOLENCE IN JEALOUSY TOUR に同行し、影のXとして頑張っていたキーボードの小森茂生さんにインタビューしました。キーボーディストとして布袋寅泰さんのツアーなどでも活躍中で、お忙しい中をぬって、の取材となりました。────

FC（以下／F）：いつ頃からXにかかわっていらっしゃるんですか？

小森氏（以下／K）：BLUE BLOOD TOUR で、YOSHIKI が復帰してからの新潟公演からですね。Xの話が来て、じゃ、一度コンサートを見せて下さい、って水戸のライブを見に行って…これは参加したらおもしろそうだ、と思って。

F：LIVEを見て気に入ってしまった、と。

K：僕の音楽性とは異質の物なんだけど…HIDEちゃんの部分が共通点かなとは思いますけどね。パンクとかニューウェーブとかの部分ですね。

F：パンクだったんですか？！

K：そう。ピストルズね。パンクの流れからポリスやＸＴＣが出てきて…僕が２０とか２１の時とかまっさかりの頃だね。

F：今回のXのツアーで弾いてる部分は…。

K：「HIDEの部屋」の部分は僕がコンピューターに打ち込んで弾いてる部分と、直接毎回変えて弾いてるのと…「BLUE BLOOD」、「SADISTIC DESIRE 」、「WEEKEND 」…「VOICELESS SCREAMING 」は全面的に弾いてるかな。「紅」「CELEBRATION 」「SILENT JEALOUSY 」…。

F：そ、そんなに…。殆どですね。

K：そうですねぇ。Xのライブ、好きですね。同じ鍵盤弾く立場から見て、YOSHIKI くんは大変だと思います。とにかく、あれだけのドラミングの後、ピアノ弾くっていうのはね…。普通、指が動かないと思うんですよ。凄いですよね。使う筋肉が違いますしね。…

F：小森さんもクラシックを？

K：いや、僕は何もやってないの。ピアノは２０才過ぎてからなんですよ。

F：ええ ──── ！！

K：完璧に独学ですよ。中学・高校の頃は大のロックファンでね。ミュージシャンになるつもりは無かったんですよ。大学に入ってから、たまたま友達がジャズのサークルに居て、やろーよっていう事になって。

F：話はとびますが、Xのメンバーとツアー中はずっと一緒だったわけですが…個人個人どんな風に感じましたか？

K：えーと、PATAはね、…マンガの話の部分で趣味が合いますねぇ（笑）。いや、ほんと。ちょっとまたその辺の話を突っ込んでしたいですねぇ。…ＴＡＩちゃんはね…実は、いわゆるロックミュージシャンとして見るとＴＡＩちゃんが一番カッコイイかな、と密かに思っているんですよ。Xはみんなそれぞれが個性的でカッコイイんだけど、僕なんかが中学生だった頃のロックミュージシャンっていうイメージで見ると、一番ロック的な人だよね。TOSHI は…いいやつだよね（笑）。普通の人って言ってしまうとなんだけど。何しろXの表看板だからね。ステージの上でも凄いと思うし。YOSHIKI は…ある種、天才ですよね。いわゆる物を作るだけじゃない部分っていうか…。これからやってく奴は絶対必要な部分だと思うんだよね。才能が有るのにつぶれていくヤツって結構見て来たし…本当に才能があるならそれをアピールする力もなきゃ、やっていけないんじゃないかな。ちゃんとそれを兼ね備えてるっていう事で、やっぱりYOSHIKI は天才かもしれない。

F：それでは、共通点も有る、というHIDEについては？

K：Xの中で興味がある人物ですね。パフォーマンス的な物にしても…いろいろな部分のアイデアにしても才能あるしね。Xの中でもHIDEちゃんの色がはっきりしてるし、Xの中でもHIDEちゃんってものがまだ何か出来ると思うし。これから楽しみです。

F：X全体的に見て…ではどうですか？

K：僕は音楽的な部分でわがままじゃないヤツなんてカスだと思うから、そういう意味ではちゃんとこれからも突っ張ってやっていけるバンドだと思います。それから今の若いバンドって結構常識的で、いい子なんだよね。でも僕らの若い頃ってそんなヤツ居なかった。だから僕らから見ると物足りない。Xの場合は、突っ張る所はちゃんと突っ張るし、ロックの本質的な部分はとらえていると思う…から好きなのかもしれない。

F：では、Xファンのみんなに一言お願いします。

K：Xにあれだけのファンの子が来るのは当然でしょう特に中学・高校生位は一番本物かニセ物か見分ける力があると思う。僕は一番信頼しますよ。だからXはこのままいけばいいし、バンドブームなんか無くなって、バンドがボコボコつぶれてもきっとXには関係ない事だと思うし。

F：小森さんは小森さんの音楽をどうやってアピールしたいですか？

K：…うーん。レコード、じゃない、ＣＤ（笑）買って聞いてみて下さい。きっとXのファンは音楽性の幅があるから、こうゆうのもいいと思ってくれれば…。一言で言うと…昔のね、パンクから抜け出た、いわゆる「ニューウェーブ」と言われている感じかな？全部シンセサイザーで作ってるんですよ。ギターの音もサンプリングって言って、鍵盤で弾いてるんだよ。そうそう、僕のＣＤには、サンプリングしたHIDEちゃんの声も入ってる。聞いてみてね。

F：小森さんて頭良いんですね…。

K：そうだよ（笑）。ははは。

温和にじっくりと話して下さった小森氏は、「ＴＡ１ちゃんと１０才違うんだよ」なんておっしゃってましたが「年齢なんて関係ないよ」とシメてくれました。でも、本当にそうだと思います。ROCKな人でした。今度みんながLIVEに行ったら、キーボードにも耳を傾けてみてね。

業務連絡

☆郵便物の未着について
ファンクラブへのお問い合わせでとにかく多いのが「郵便物が届かない‥‥」なのです。しかし、ファンクラブではコンピューターで宛名シール等を管理、処理しておりますので誰かだけ送らないという事はありえないのです。ファンクラブからのお知らせのハガキや会報の発送日は決まりしだい留守番電話にも入れておきます。こちらから発送後の届いた、届かないに関してはファンクラブでも責任を負いかねますので御了承下さい。もし「友達の会員のコには届いてるのに私にはとどいてない」なんていう時にはなるべく早く御連絡下さい。郵便物の未着について郵便局に問い合わせてみたところ配達ミスで誤って配達されているのが一番多いということです（建物の名前が出ていない、ポストに名札が出ていない、周囲に似たような建物、住所、名前がある、などなど）今までにも届かなかった事のある方は、地元の管轄の郵便局に住所の確認に行って頂けますでしょうか。

☆住所変更について
ハガキでＸファンクラブ住所変更係までお知らせ下さい。その際、あなたの会員番号を必ず書いて下さい。会員番号がないと住所変更ができません。また、住所変更をしたら郵便事故を防ぐ為に郵便局にも必ず転居届けを出して下さい。

☆料金不足の郵便物
毎日毎日、メンバーへのファンレター、ファンクラブへお手紙を書いてくれてるみんな、どうもありがとう。メンバーへのファンレターはちゃんと渡しているので心配しないで下さいね。ところで、そのお手紙、料金不足のものが異常に多いのです。一通何十円不足のものだけどチリも積もれば山となる‥‥。今日はお手紙の枚数が多くなったなぁと思ったらポストに入れる前に必ず料金を計ってから出して下さいね。

☆会費の継続について
封筒の宛名シールの下にあなたの有効期限が記してあります（例：9111→1991年11月の末日迄）。
あなたの会費が切れる月に継続用紙をお送りします。有効期限が11、12月の方には今回の会報に同封してあります。継続の詳細は継続用紙に書いてありますのでよく読んで、間違いのない様に手続きして下さい。記入もれ等ありますと、継続の手続きができない場合もあります。

☆会員証について
カード型会員証は届いていますか？最初の年は黒、１年経ったら金のカードです。カードの裏には各自で会員番号と名前を記入して下さい（会員番号は封筒の宛名シールの番号です）。「継続したのに、いつカードがくるの？」という人。有効期限の月が過ぎた次の会報に同封されています（今回の会報には7、8、9月継続の方です）。黒い皮付きキーホルダーも会員証です。会員のみの非売品ですので大切にしてね。そんなモノ入ってない又は壊れていた、なんて人はファンクラブに御連絡下さい。

☆メンバーの実家、自宅を調べて電話をかけたり直接、行ったりするファンの方がまだたえない様です。前号でＨＩＤＥも言っていましたが、メンバーにも私生活があるのです。メンバーの実家や自宅だけでなく、近所の方々の迷惑にもなります。その為にメンバーが住めなくなったりしたら悲しいですよね。電話番号を電話帳で調べてかける方がいる様ですが、メンバーの自宅の電話番号は載っていません。電話帳で調べて同姓同名の一般の方の家に間違い電話が多すぎると、こちらの方に苦情の電話も入っています。この様な行為は絶対にやめて下さい。

ＹＯＳＨＩＫＩの埋もれた砂当選者発表

いきなり、こんなところに発表ですいません。なんせ今回の会報にはもうスペースというものがないのです。さて発表の前に、50名にプレゼントといいましたが砂を分けてみたら、100名にプレゼントができる様になりました。そこで、100名はここに発表できないので、20名だけ発表します。あとは、発送をもって。

(敬称略)NO.3135 後藤佳子　NO.4411 赤尾世紀子
NO.8548 武田尚子　NO.8868 古沢淳子
NO.11026 後藤茜　NO.12028 北村真弓
NO.13499 岩佐比呂子　NO.15368 北川静香
NO.15827 柿野亜由美　NO.18945 福留里恵
NO.20216 幅屋宏　NO.20575 米沢里恵
NO.20916 森井理恵　NO.22193 田中陽子
NO.26284 北嶋裕也　NO.26961 金谷貴博
NO.28974 吉田良　NO.29555 井上妃呂子
NO.29696 広橋知美　NO.30270 藤巻久美子
以下、80名様にプレゼントです。

次回のプレゼント

次回のプレゼントはたくさん、というか、楽屋やらなんやらで集めたガラクタたちです。ダイエースプレーの空缶のサイン入りや、Ｘ風船、あと〜まぁ、思いだせないんだけどM^2が掻き集めてきたモノがダンボールの中に何点かありますので、それをプレゼントしまぁス。何が当たるか分かりませんけど、どんなものでもという方は御応募下さい。応募方法は必ずハガキで会員番号・住所・氏名を明記の上、ファンクラブ内「ツアー中のガラクタ、何が当たるか分かんないけど応募しちゃいました」係まで。尚、一人２枚以上ハガキを出された方は抽選の対象にはなりません。
応募のハガキにクレームを一緒に書いてくる方がいますが、クレームはハガキを別にしてファンクラブまで送って下さい。

編集後期

皆様、初めまして。入りたての私は、もっｃｈａｎｇ、ＭＯＲＯ－ｓａｎの下で、ＦＣの仕事を見習中です。さっそくなんですけれど、ＰＭ１時〜６時の電話受付の時間は、大切に利用してね。本当に用事のある人がかからなくなっちゃうからね。もちろん、無言電話・いたずら電話はやめましょう。それから、会報や葉書にすでに記入されている事へのお問い合わせもね。きちんと読んで下さいね。X'ファンの節度あるお電話、お待ちしてまーす！
"クリスタル"となりのみよｃｈａｎ

どうも、お待たせしました。
何だかあっという間に寒くなってしまって。
私の心も寒いのです。なぜなら、私は渋谷の街中で小さなウサギを買いました。つい１週間前の事です。どうしようもないくらいかわいくて、ギズモと名づけました。大事に育てようと思っていたのに‥‥。昨日、栄養失調で天国に行ってしまいました。病院に連れて行ったんだけど、遅かったの。やっぱり、道端で売ってるのは弱いと知ってて買った私もバカだけど‥‥‥‥!!
今、とっても泣き虫なＭＯＲＯ

今回の編集後期を書いている途中で、MOROは泣き出してしまいました。こんなに思われて、ギズモは幸せだったね。…ツアー中に取材させてくれたFAN のみんな、ホントにありがとね！みんなイイコばっかりだった。――
私はテレビで下山淳さん（ギタリストだヨ）を久々に見てうーんやっぱ格好よいなぁと感動したのでしたははは。
でも自宅に行ったりはしないです。（アタリマエです）
さてと…Ｙちゃん、LIVE良かったヨ。次いつ飲みに行く？
―――― "20th Miscast"もっchang

X-PRESS Vol.9 発行日／1991年10月30日　表紙・裏表紙／Ｘ＆デザイン　編集・発行／ソニーレコード STAFF ROOM 3rd　X FUN CLUB 03(3409)8617　東京都渋谷区渋谷2-16-1 日石渋谷ビル10F

